

CAD ・ ASC Abutment / CAD ・ ASC アバットメント

- *ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン*
- *ASC Abutment Design / ASC アバットメント デザイン*



CAD · ASC Abutment / CAD · ASC アバットメント

- ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



DTX Studio™ Lab 1.10

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan



修復物のデザイン

スキャンから模型を製作

模型のスキャンと送信

症例のインポート

【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・ウィンドウから修復物のデザインを選択します

以下情報を各項目に入力し、【次へ】をクリックします

患者：(必須項目)
患者名を入力します

症例ID：
患者毎に割り当てられたカルテNo等を入力します(※省略可)

期日：
入力した年月日から、ソフトウェアが期日を計算します(※省略可)

歯科医院：郵便番号(必須項目)
歯科医院名を入力いたします。

歯科技工所または歯科医院：
歯科技工所または歯科医院名を入力いたします(※省略可)

症例を追加

× キャンセル

症例情報

患者 (必須項目)

症例ID

期日

25 ▼ 3月 ▼ 2019 ▼ 📅

歯科医の情報

歯科医名 (必須項目)

郵便番号 (必須項目)

歯科技工所または歯科医院

● ○ 次へ >

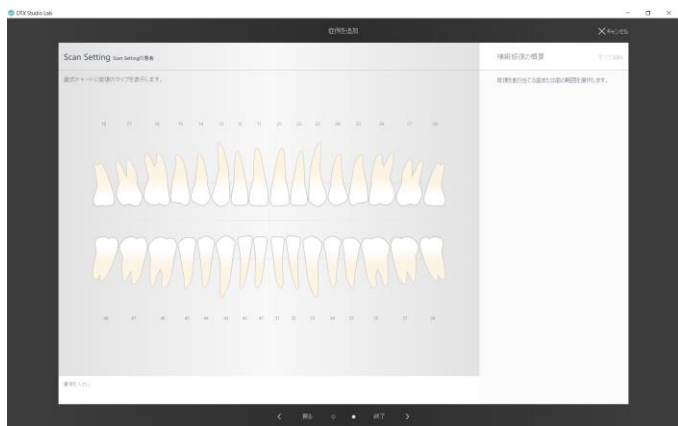
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

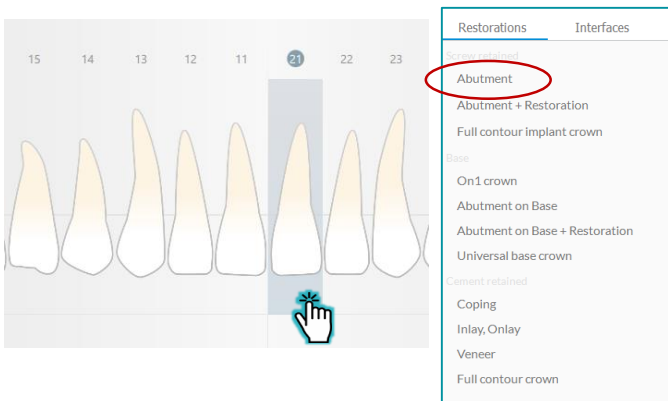
【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します



製作する部位にカーソルを合わせ、製作部位の背景色を反転させクリックすると、修復物選択ウィンドウが表示されます。

【Abutment】を選択します



● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します



製作する部位にカーソルを合わせ、製作部位の背景色を反転させクリックすると、修復物選択ウィンドウが表示されます。

【アバットメント】を選択します



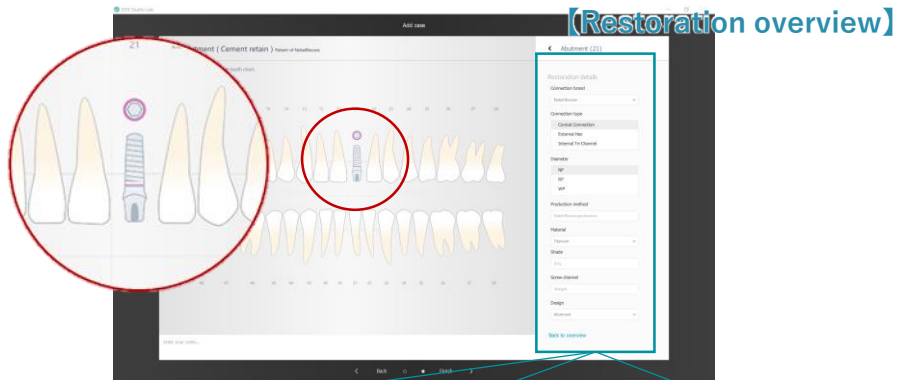
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定を行うと、歯式の画像が切り変わります



Restoration details

Connection brand
Nobel Biocare

Connection type
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

Diameter
NP
RP
WP

インプラントを選択します

Production method
Nobel Biocare production

Material
Zirconia

Shade
White

製作方法、材質、色調を選択いたします

Screw channel
Straight

Design
Abutment

スクリーアクセスホール、形状を選択いたします

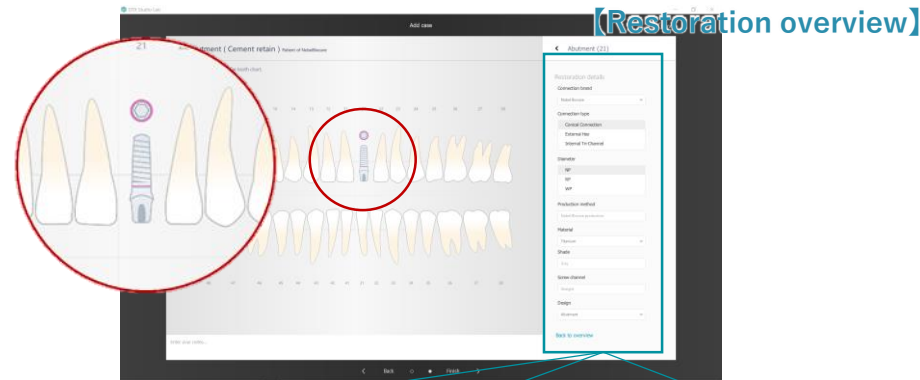
● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Genion 2 Scanner

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定を行うと、歯式の画像が切り変わります



コネクションのメーカー名
Nobel Biocare

コネクションのタイプ
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

直径
NP
RP
WP

インプラントを選択します

製作方法
Nobel Biocare production

材質
Zirconia

シェード
Medium

製作方法、材質、色調を選択いたします

スクリーチャンネル
Straight

デザイン
アバットメント

スクリーアクセスホール、形状を選択いたします

DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定の詳細項目

修復の詳細

Restoration details

Connection brand
Nobel Biocare

Connection type
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

Diameter
NP
RP
WP

Production method
Nobel Biocare production

Material
Zirconia

Shade
White

Screw channel
Straight

Design
Abutment

[Back to overview](#)

- Connection brand
 - ・ Alpha-Bio Tec (現在製作不可)
 - ・ NobelBiocare
- Connection type
 - ・ 選択したシステムに準ずる
- Diameter
 - ・ 選択したシステムに準ずる
- Production method
 - ・ NobelBiocare Production center only
- Material
 - ・ Titanium
 - ・ Zirconia
- Shade
 - ・ 選択されたProductに準ずる
- Screw channel
 - ・ Straight
 - ・ Straight metal adapter (NobelBiocare CC のみ)
 - ・ Angulated (NobelBiocare CC のみ)
- Design
 - ・ Abutment (Cement retain)
 - ・ Screw retain crown

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Genion 2 Scanner

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定の詳細項目

修復の詳細

コネクションのメーカー名
Nobel Biocare

コネクションのタイプ
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

直径
NP
RP
WP

製作方法
Nobel Biocare production

材質
Zirconia

シェード
Medium

スクリーチャンネル
Straight

デザイン
アバットメント

- コネクションのメーカー名
 - ・ Alpha-Bio Tec (現在製作不可)
 - ・ NobelBiocare
- コネクションのタイプ
 - ・ 選択したシステムに準ずる
- 直径
 - ・ 選択したシステムに準ずる
- 製造方法
 - ・ NobelBiocare Production center only
- 材質
 - ・ Titanium
 - ・ Zirconia
- シェード
 - ・ 選択されたProductに準ずる
- スクリュー・チャンネル
 - ・ Straight
 - ・ Straight metal adapter (NobelBiocare CC のみ)
 - ・ Angulated (NobelBiocare CC のみ)
- デザイン
 - ・ アバットメント (セメント固定)
 - ・ スクリュー固定によるクラウン

DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

修復の詳細

Restoration details

Connection brand
Nobel Biocare

Connection type
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

Diameter
NP
RP
WP

Production method
Nobel Biocare production

Material
Zirconia

Shade
Medium

Screw channel
Angulated

Design
Screw retained crown

[Back to overview](#)

例：(本項での手順)
ASC Abutmentを製作する場合
(NobelBiocare CCインプラントシステムを使用)

- Connection brand
・ NobelBiocare
- Connection type
・ Conical Connection
- Diameter
・ NP/RP/WP
- Production method
・ NobelBiocare Production
- Material
・ Zirconia
- Shade
・ 4色から選択
- Screw channel
・ Straight metal adapter / Angulated
- Design
・ Screw retain crown

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan

Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

修復の詳細

コネクションのメーカー名
Nobel Biocare

コネクションのタイプ
Conical Connection
External Hex
Internal Tri-Channel

直径
NP
RP
WP

製作方法
Nobel Biocare production

材質
Zirconia

シェード
Medium

スクリーチャンネル
Angulated

デザイン
スクリー固定によるクラウン

例：(本項での手順)
ASC Abutmentを製作する場合
(NobelBiocare CCインプラントシステムを使用)

- コネクションのメーカー名
・ NobelBiocare
- コネクションのタイプ
・ Conical Connection
- 直径
・ NP/RP/WP
- 製作方法
・ NobelBiocare Production
- 材質
・ Zirconia
- シェード
・ 4色から選択
- スクリュー・チャンネル
・ Straight metal adapter / Angulated
- デザイン
・ スクリュー固定によるクラウン

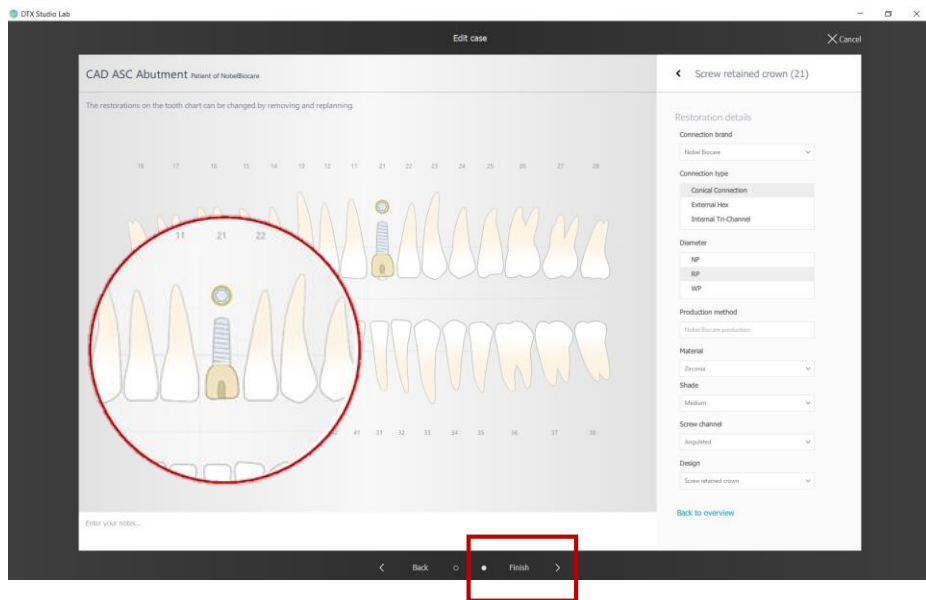
DTX Studio™ Lab 1.10



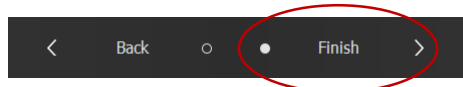
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

設定を行うと、歯式内の図も変更されます



設定が完了したら、画面下の
【Finish】ボタンで終了します



● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



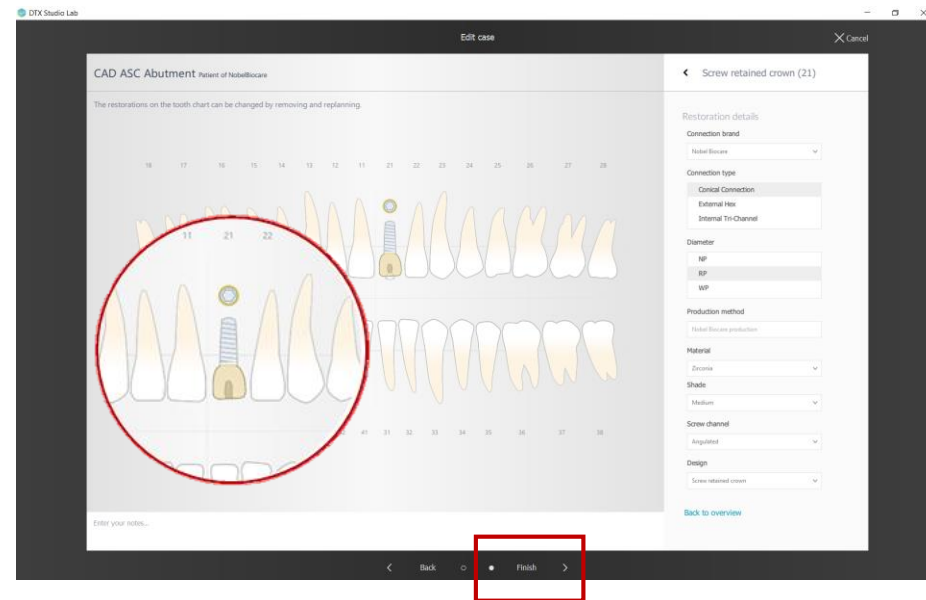
Scan



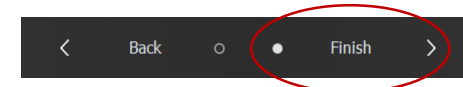
Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

設定を行うと、歯式内の図も変更されます



設定が完了したら、画面下の
【Finish】ボタンで終了します



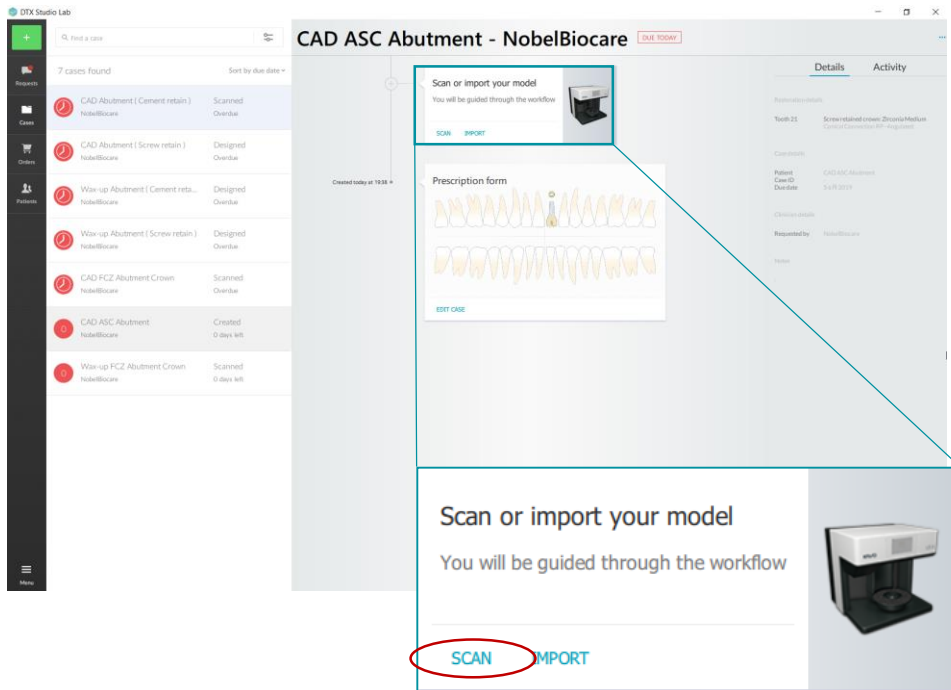
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

DTX STUDIO Lab のトップページに切り変わります



上段の、【SCAN】ボタンから、スキャンを開始します

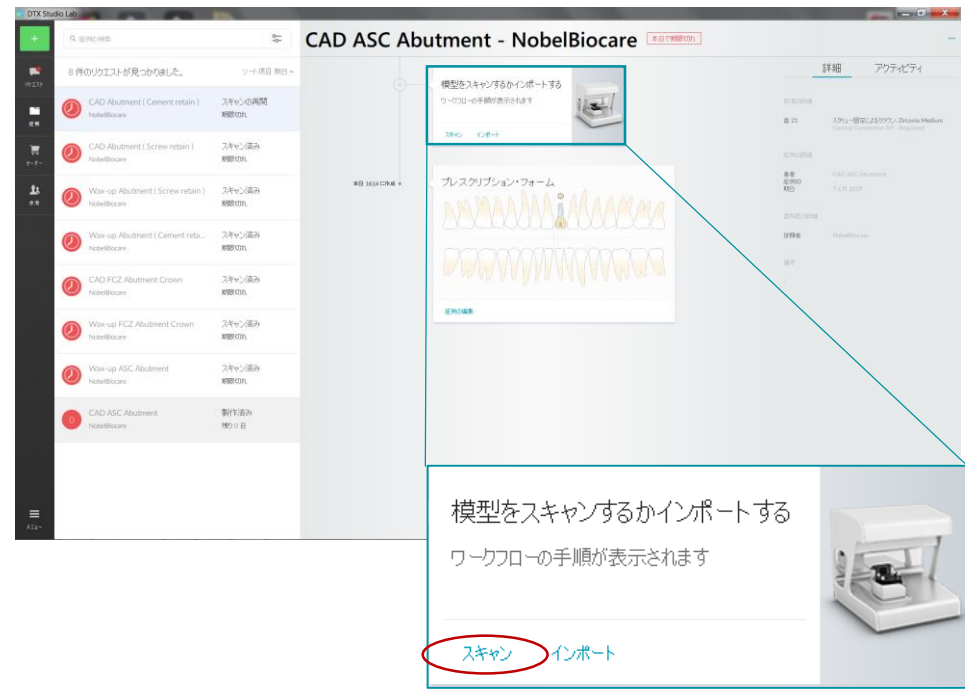
● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

DTX STUDIO Lab のトップページに切り変わります



上段の、【スキャン】ボタンから、スキャンを開始します

DTX Studio™ Lab 1.10

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan



【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

- 作業模型
 - ・分割模型が望ましい
 - ・ガム材使用が望ましい
- アバットメントポジションロケーター



作業模型



NobelBiocare ConicalConnection インプラント用
アバットメントポジションロケーター

DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

モデルホルダーにスキャン模型を固定し、LS3 スキャナーへ装着します。 ※図1

KaVoプロター咬合器専用のマウンティングプレート装着している場合は、直接スキャナーへ装着します ※図2

図1



モデルホルダへの装着例

図2



KaVoプロター咬合器専用のマウンティングプレートへ装着例

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan

Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

モデルホルダーG2にスキャン模型を固定し、Genion2 スキャナーへ装着します。



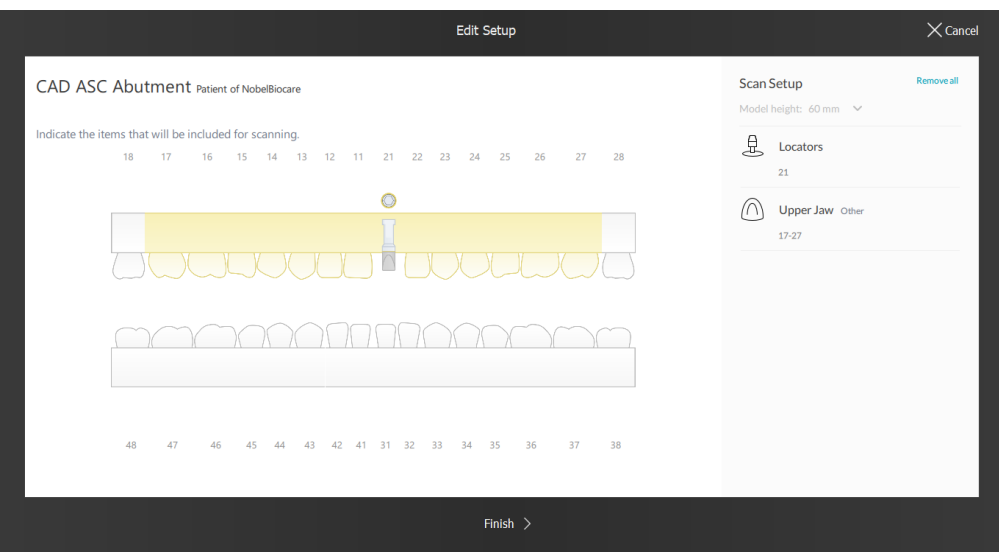
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います



図のように、デフォルトでスキャン項目と範囲が選択されています

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



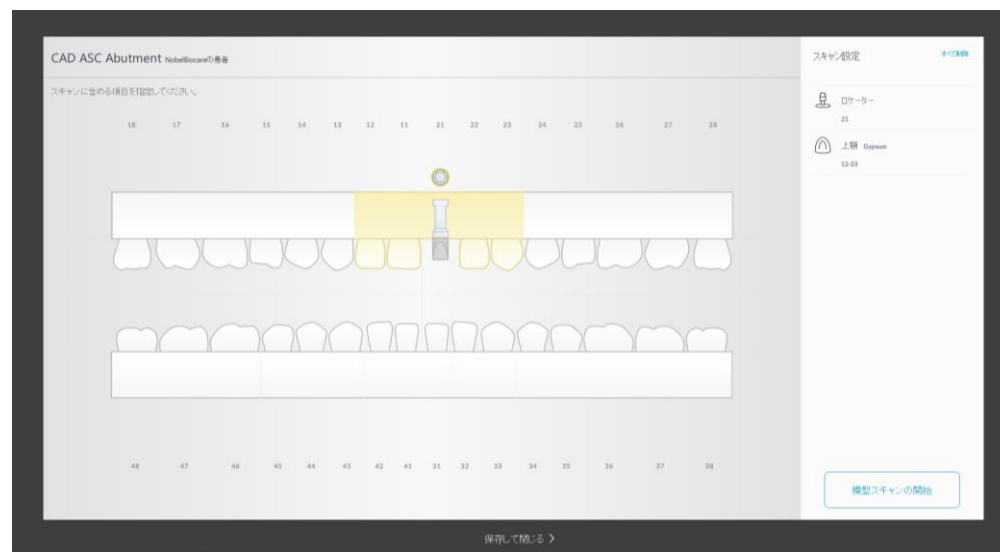
Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います



図のように、デフォルトでスキャン項目と範囲が選択されています

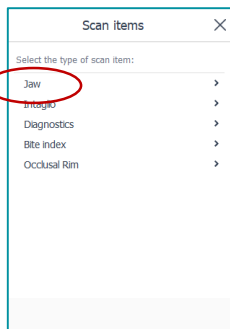
DTX Studio™ Lab 1.10



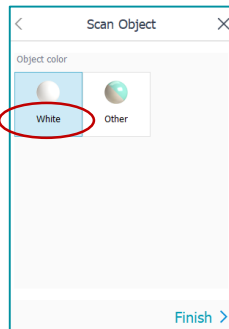
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（修復する顎）



Scan itemsから【Jaw】を選択します



Scan Objectを選択し【Finish】をクリックし終了します

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン

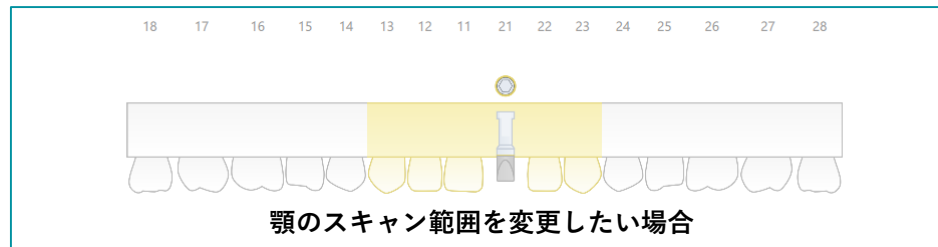


Genion 2 Scanner

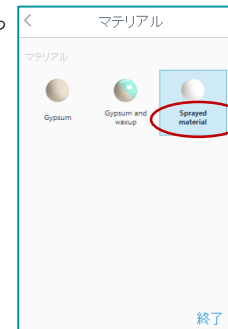
Scan

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（修復する顎）



スキャン・アイテムから【顎】を選択します



マテリアルを選択し【終了】をクリックし終了します

DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

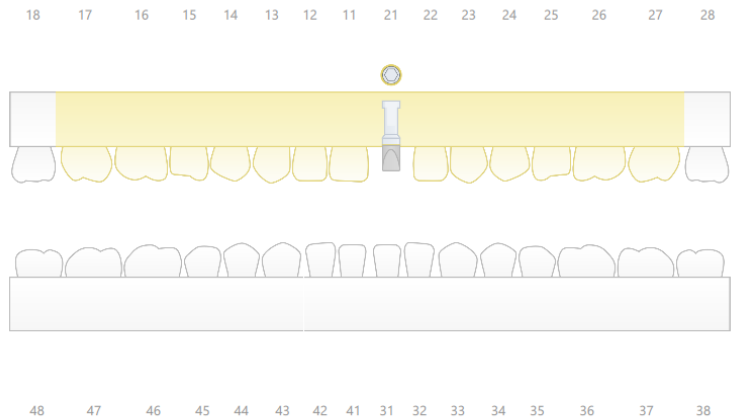
【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（修復する顎）

顎のスキャン範囲の設定完了

CAD ASC Abutment Patient of NobelBiocare

Indicate the items that will be included for scanning.



● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan



Genion 2 Scanner

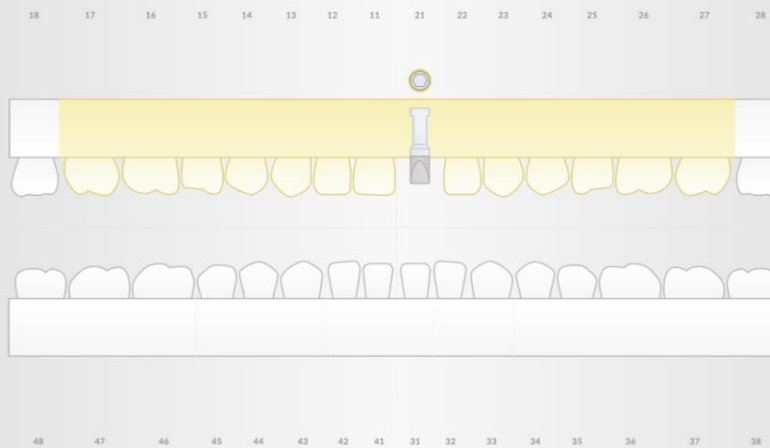
【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（修復する顎）

顎のスキャン範囲の設定完了

CAD ASC Abutment NobelBiocareの患者

スキャンに含める項目を選択してください。



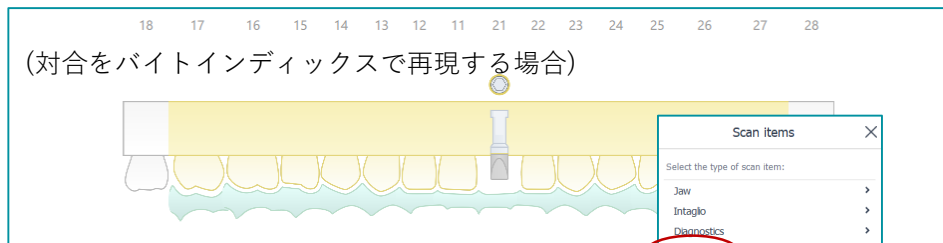
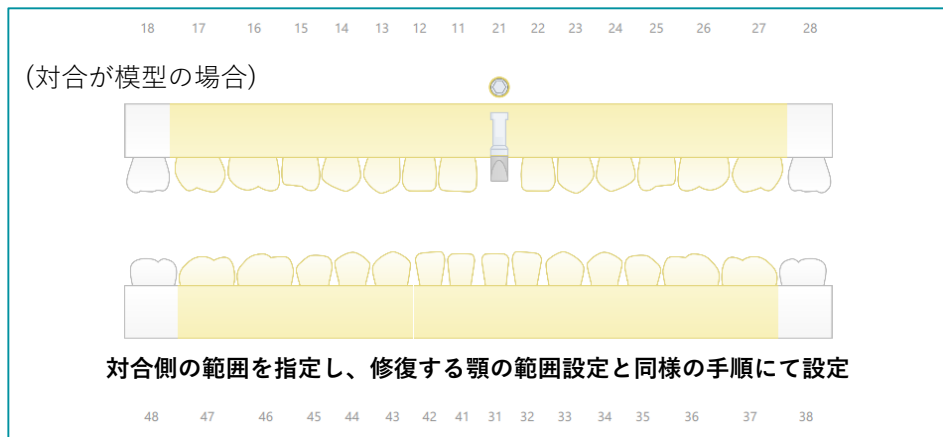
DTX Studio™ Lab 1.10



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います（対合する顎）



修復側の顎の範囲を指定し、Scan itemsの項目から【Bite Index】を選択します

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

バイトインディックスのScan範囲設定を行います（修復する顎）



【対合をバイトインディックスで再現する場合】



Genion2で対合模型をスキャンする場合は、スキャン可能高径などの影響で、スキャンができない場合があります



スキャン・アイテムから【バイトインディックス】
・マテリアルから項目を選択し【終了】を左クリックします

DTX Studio™ Lab 1.10

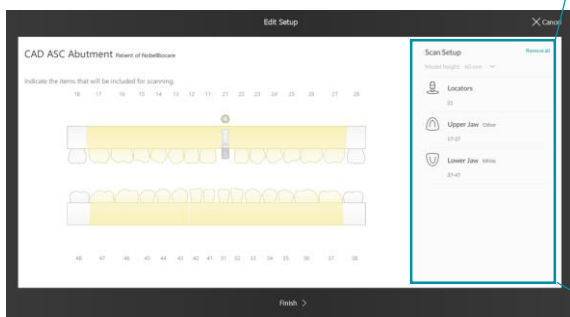


Kavo LS3 Scanner

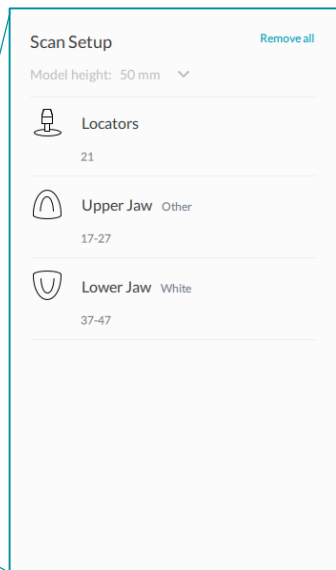
【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います

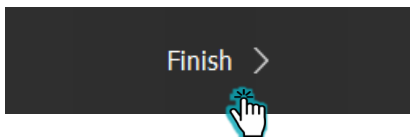
設定を行うと同時に、Scan Setupの項目が追加され、Scanの準備が整います



本項では、対合模型のScan方法で説明しています



設定が完了したら、画面下の【Finish】をクリックし設定を完了します



● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン

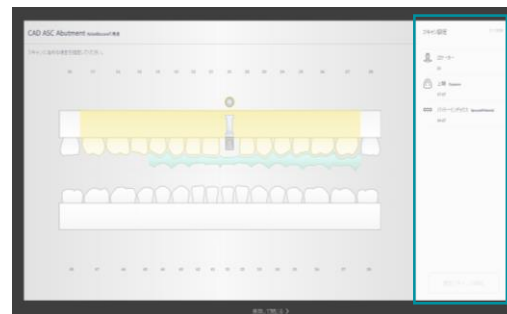


Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います

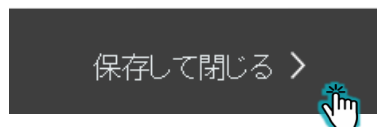
設定を行うと同時に、スキャン設定の項目が追加され、Scanの準備が整います



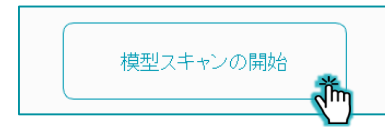
本項では、バイトインディックスのScan方法で説明しています



設定が完了し保存したい場合は、画面下の【保存して閉じる】をクリックし設定を保存します。



設定が完了しスキャンに移動したい場合は、スキャン設定下部の【模型スキャンの開始】をクリックします。



DTX Studio™ Lab 1.10



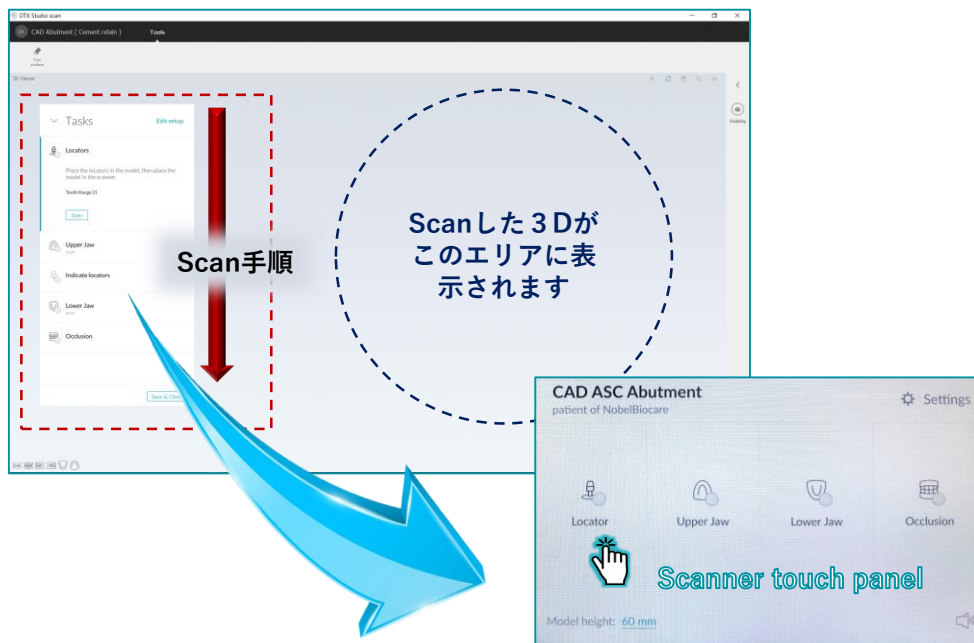
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scan画面が開きます

Scan Tasksに表示されている順番(上から下)でScanを行ってください。
各項目の【Scan】をクリックするとScanを開始します。



スキャナータッチパネルからもスキャンを開始できます。
各項目をタッチし、さらに【Scan】をタッチするとスキャンを開始します

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scan画面が開きます

領域指定オブジェクトが表示されますので、スキャン対象物に領域指定を行いScanを行ってください。
各項目画面下の【>】を左クリックするとScanが開始します。



DTX Studio™ Lab 1.10

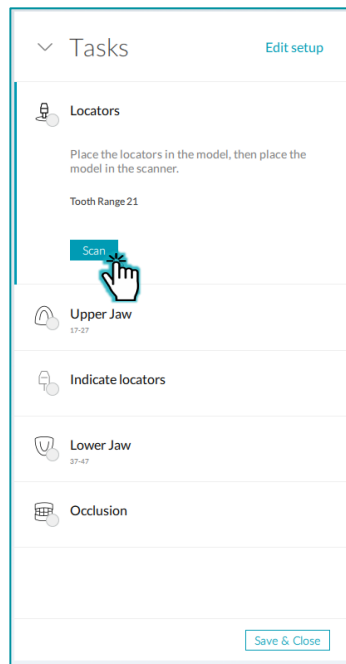


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Locators項目の【Scan】をクリックしScanを開始します



模型にロケータを装着した状態でScanを行います。ロケータがレプリカにしっかり適合している事を確認するため、ガム材を外してスキャンする事を推奨します



Scanner タッチパネルからもスキャンを開始できます。

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan



Genion 2 Scanner

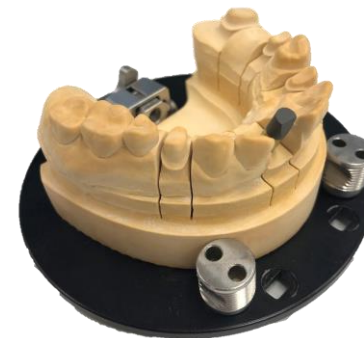
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケータースキャンを開始します



模型にロケータを装着した状態でScanを行います。ロケータがレプリカにしっかり適合している事を確認するため、ガム材を外してスキャンする事を推奨します



DTX Studio™ Lab 1.10

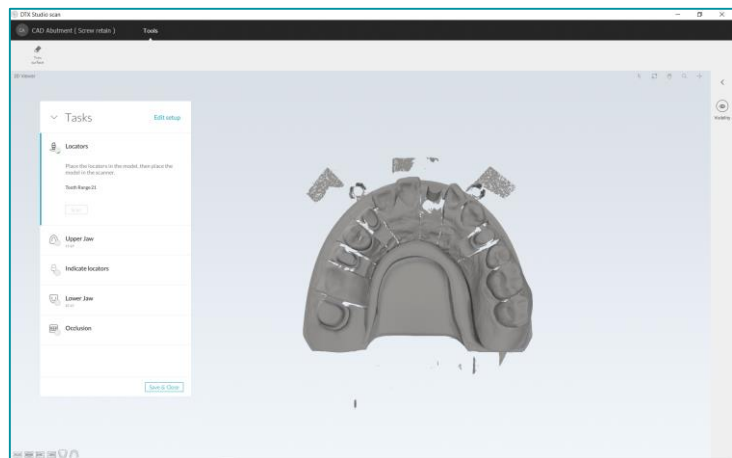
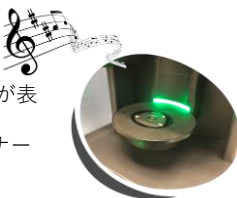


Kavo LS3 Scanner

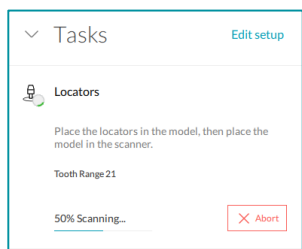
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

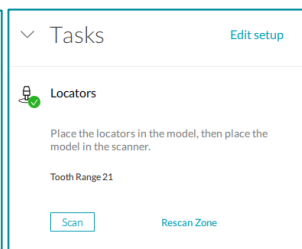
Scanを実行すると、TasksにScanning 進行率が表示され、画面中央に3Dデータが表示されます。Scanが終了すると、効果音とともに、スキャナーが緑色に光ります



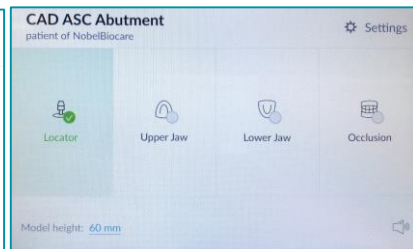
Scanが終了すると、項目アイコンの横にチェックマークが点灯します



Scan進行中の画面
(ソフトウェア側)



Scan終了時の画面
(ソフトウェア側)



Scan終了時の画面
(スキャナー側)

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan



Genion 2 Scanner

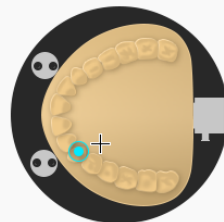
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケータースキャン画面が表示されたら、模型の設定、スキャン領域設定を行い画面下の【次へ】をクリックしScanを開始します



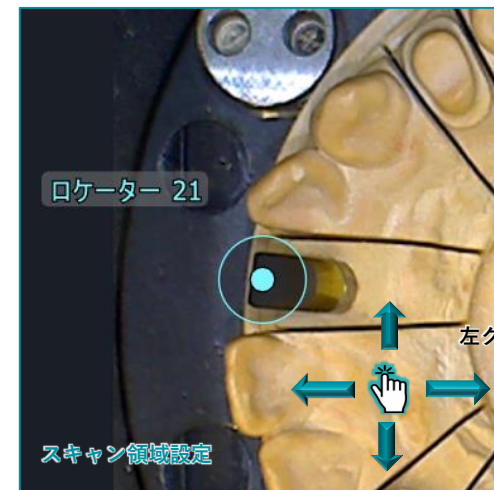
ロケーターの指定



ロケーターを修復する側の模型に配置します。点を正しい位置にドラッグして、ロケーターを指定します。
使用できるロケーターが不十分な場合は、次の手順でスキャンされるロケーターのチェックを外します。

ロケーターのリスト

ロケーター21
Conical Connection RP



ロケーター 21

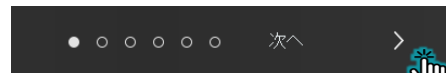
スキャン領域設定

左クリック

Scan対象物に領域指定を行い、画面下の【>】を左クリックすると、Scanを開始します



左ドラック：
ポイントをつかみ、移動します



DTX Studio™ Lab 1.10

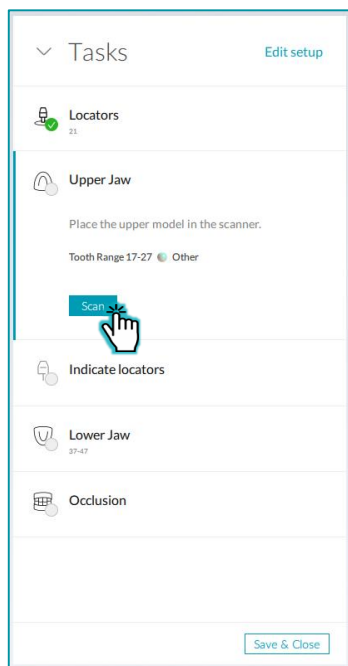


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)項目の **【Scan】** をクリックしScanを開始します



ロケーターを除去し、ガム材を装着した状態でScanを行います。



Scanner タッチパネルからもスキャンを開始できます。

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケーターのスキャン



Scanが進行すると、スキャン経過とともにドットが表示されます。

DTX Studio™ Lab 1.10

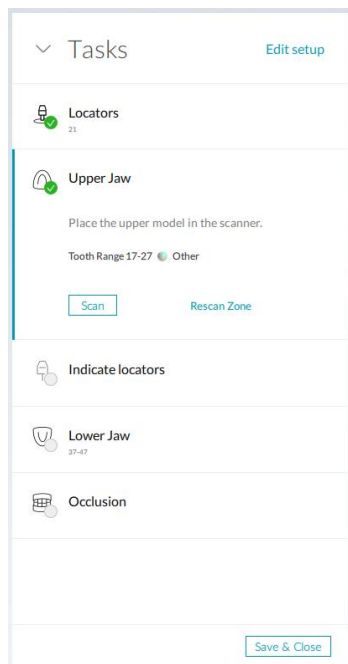


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎) のスキャン完了



カラーズキャンを行った場合



● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan

Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケーターのスキャン完了



Scanが終了したら、画面下の【>】を左クリックすると、次の項目へ移動します



DTX Studio™ Lab 1.10

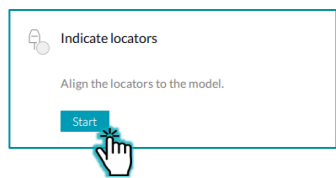


Kavo LS3 Scanner

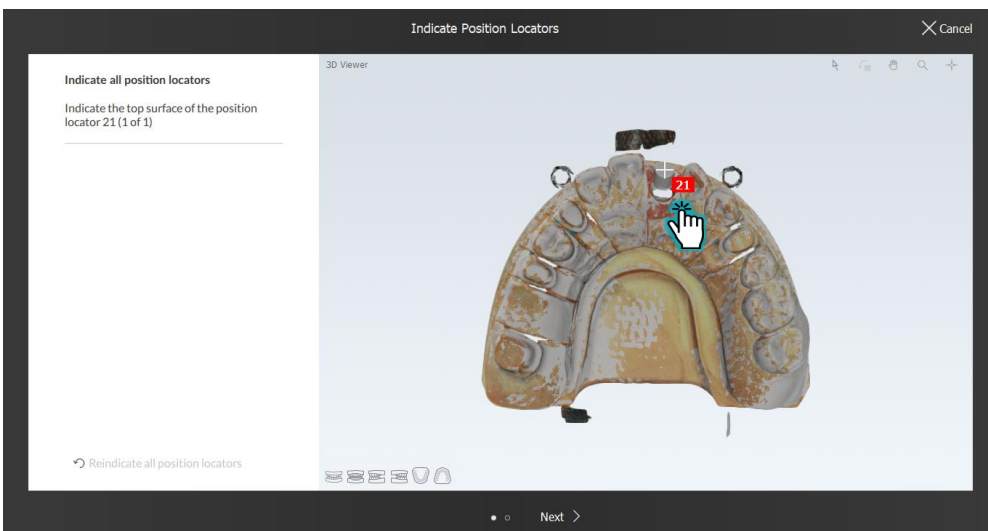
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Indicate Locatorsの【Start】をクリックし、Locatorの確認を開始します



下図のように、【+字キー】をLocatorの中心に合わせクリックします。



● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan



Genion 2 Scanner

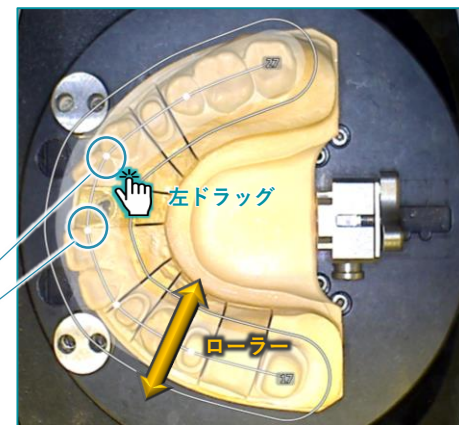
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)のスキャンを開始します



ロケータを除去し、ガム材を装着した状態でScanを行います。



左ドラッグ：
ポイントをつかみ、移動します



ローラー：
領域の幅を拡大/縮小します

領域指定が完了し、画面下の【>】を左クリックすると、Scanが開始されます



DTX Studio™ Lab 1.10

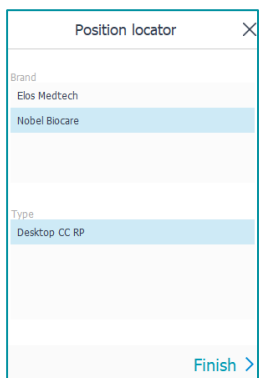


Kavo LS3 Scanner

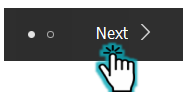
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

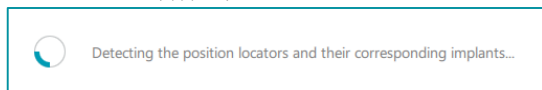
実際に使用したPosition Locatorの種類を選択し【Finish】をクリックします。



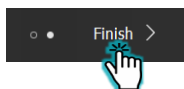
Position Locatorと、ソフトウェアがはめ込んだ、青色のロケータデータにズレが起きていなければ、【Next】をクリックします



ソフトウェアが計算を行います



Position Locatorのアライメントが終了したら、【Finish】をクリックします



● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan

Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)のスキャン



DTX Studio™ Lab 1.10

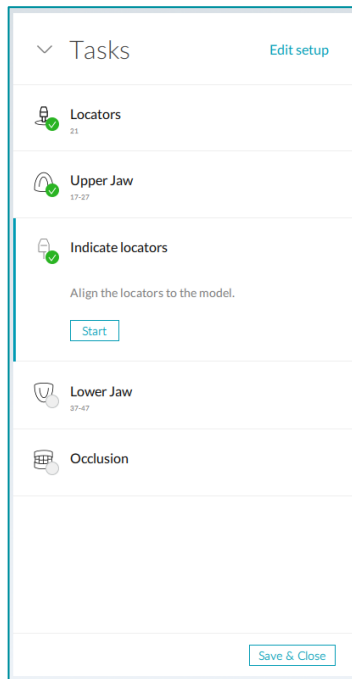


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Indicate Locatorsの完了



カラースキャンを行った場合



● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan



Genion 2 Scanner

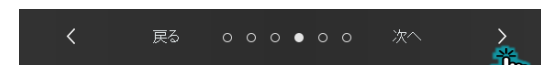
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)のスキャン完了



Scanが終了したら、画面下の
【>】を左クリックすると、次の
項目へ移動します



DTX Studio™ Lab 1.10

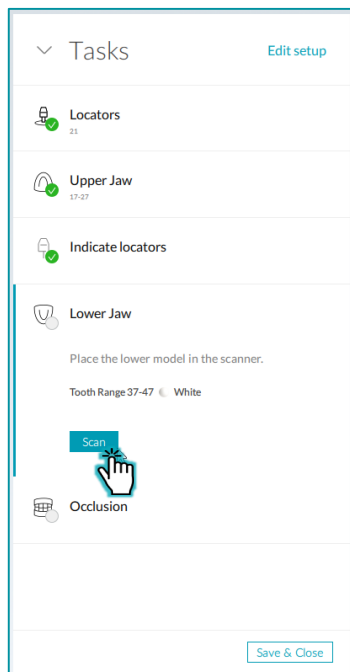


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Lower Jaw(対合側の顎)項目の **【Scan】** をクリックしScanを開始します



対合模型をモデルホルダーに装着します。



スキャナータッチパネルからもスキャンを開始できます。

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

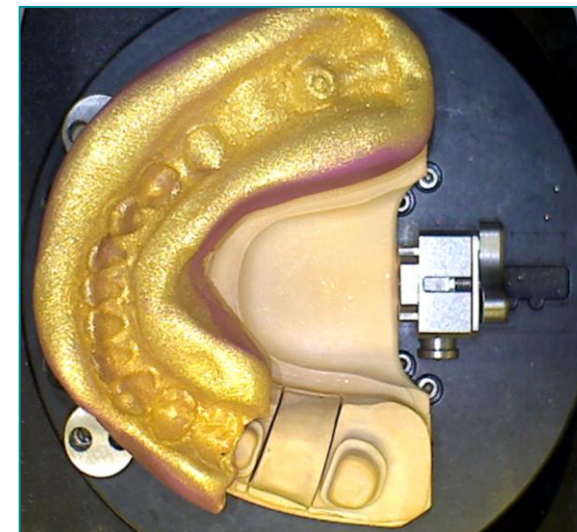
Scanを行います

バイトインディックス(修復側の顎)のスキャンを開始します



修復側顎模型にバイトインディックスを装着し、
スキャンスプレーもしくは、スキャンパウダーを塗布します

青いスプレー&パウダーはScanできません



DTX Studio™ Lab 1.10

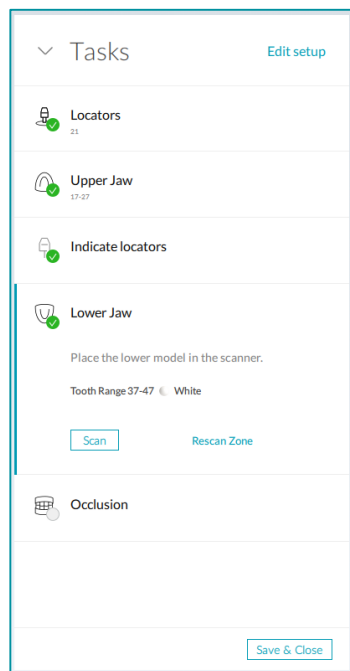


Kavo LS3 Scanner

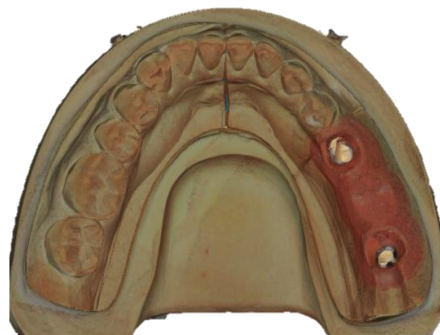
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Lower Jaw(対合側の顎) のスキャン完了



カラーズキャンを行った場合



● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan

Genion 2 Scanner

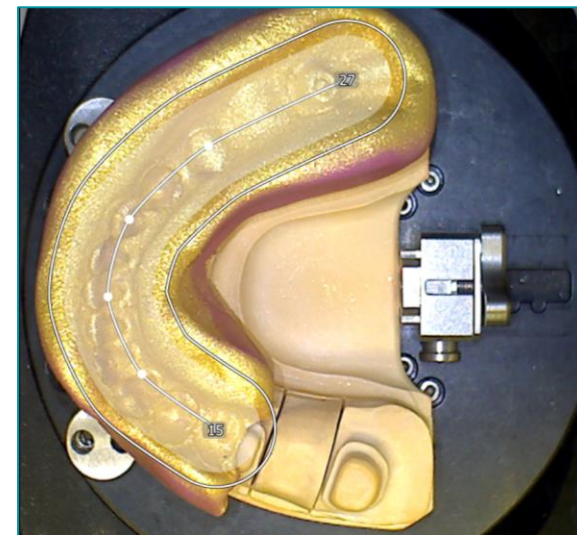
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

バイトインディックス(修復側の顎)のスキャンを開始します



スキャン領域の指定を行います。



スキャン領域を指定したら、画面下の【>】を左クリックすると、スキャンが開始されます。



DTX Studio™ Lab 1.10

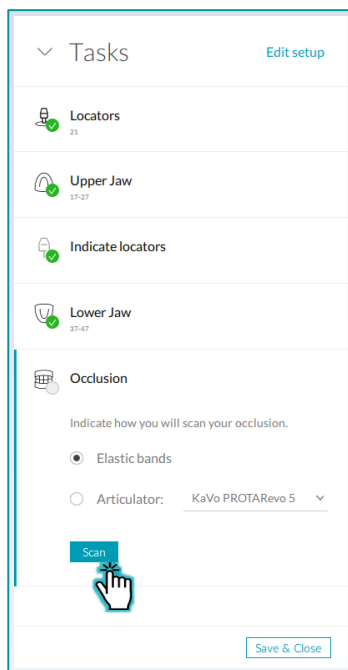


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Occlusion(咬合)項目の **【Scan】** をクリックしScanを開始します



上下顎を固定します。
対合側の模型はモデルホルダーから外さずに、
修復側の顎模型を固定します。

固定方法

- ✓ ゴムバンド
 - ✓ ワックス
 - ✓ 金属バー
- などを使用します



本項では、ワックスを使用し固定しています。
咬合器Scanを行う場合は、咬合器スキャンの項を参照してください

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan

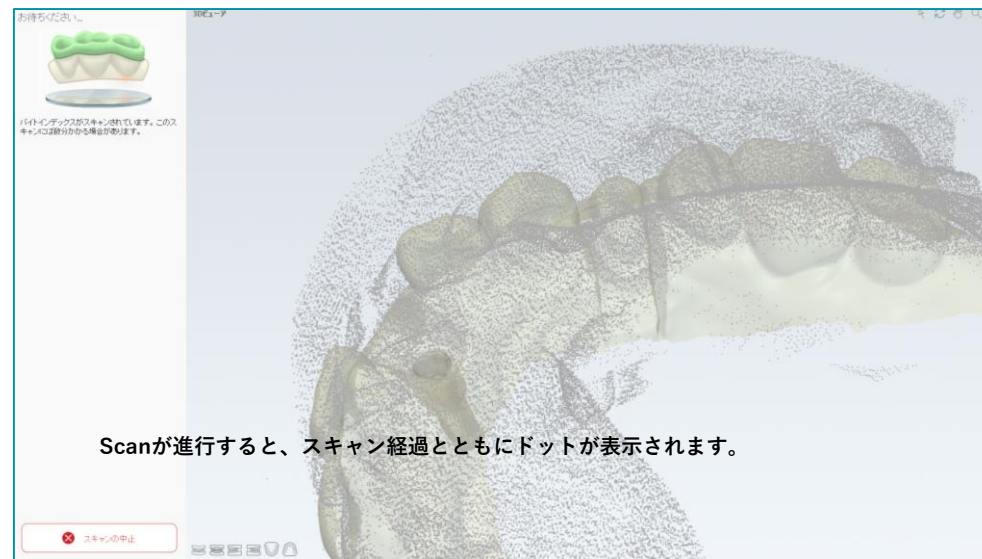


Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

バイトインディックスのスキャン



DTX Studio™ Lab 1.10

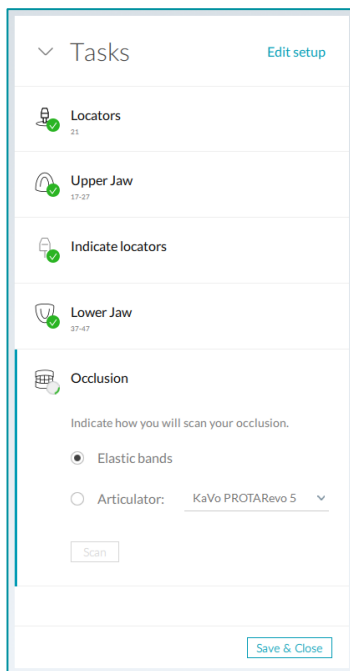


Kavo LS3 Scanner

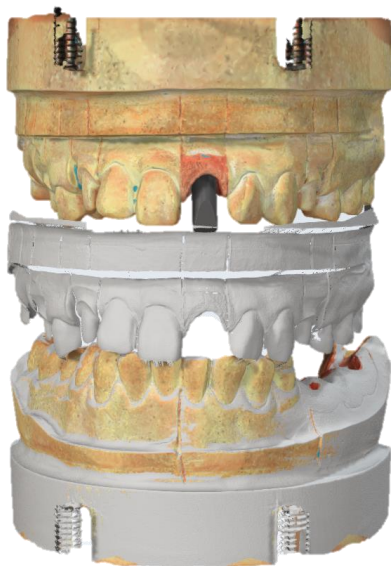
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Occlusion(咬合)項目のスキャン完了



Scan後、自動計算を行います



● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン



Scan

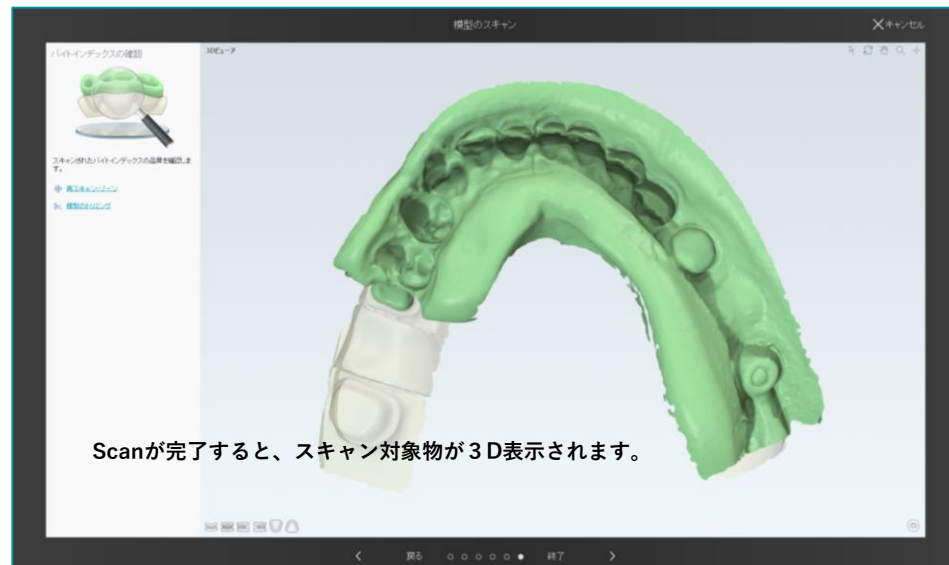


Genion 2 Scanner

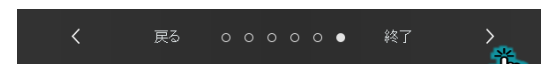
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

バイトインディックスのスキャン完了



Scanが終了したら、画面下の【>】を左クリックすると、スキャンが完了します。



DTX Studio™ Lab 1.10

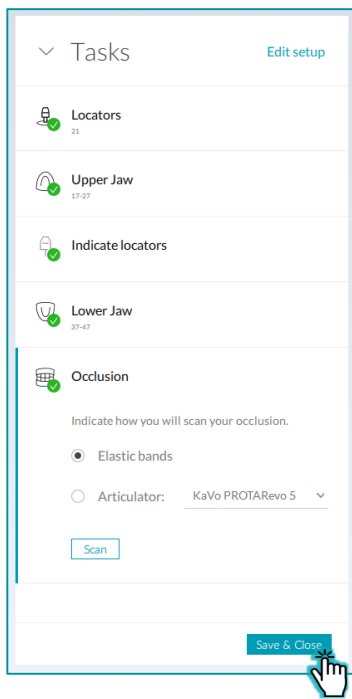


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

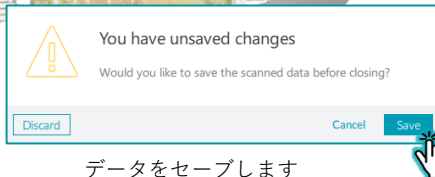
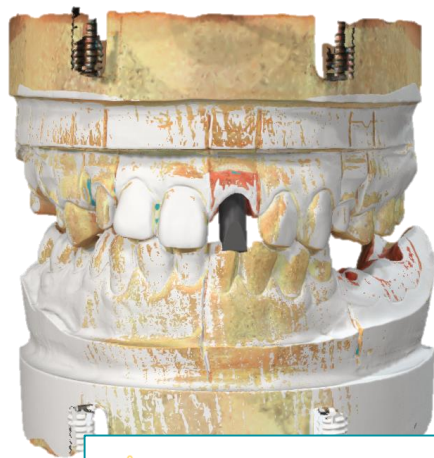
Scanを行います

Occlusion(咬合)項目のスキャン完了



上下額がマッチングしたらスキャン完了です。

【Tasks】の下部にある【Save & Close】をクリックし、データをセーブしてスキャンの全工程を終了します。



データをセーブします

● ASC Abutment Scan / ASC アバットメント スキャン

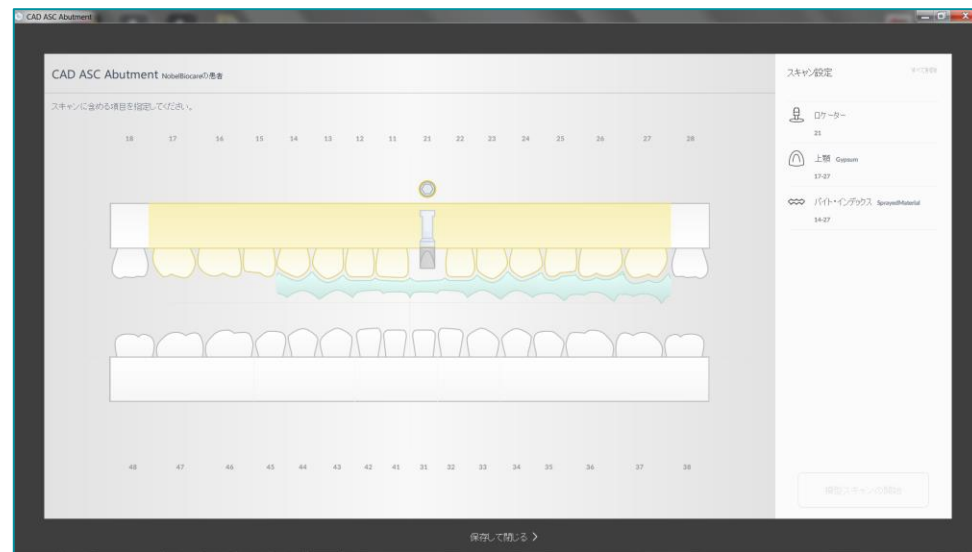


Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scanの完了



Scanが終了したら、画面下の【保存して閉じる>】を左クリックし保存します



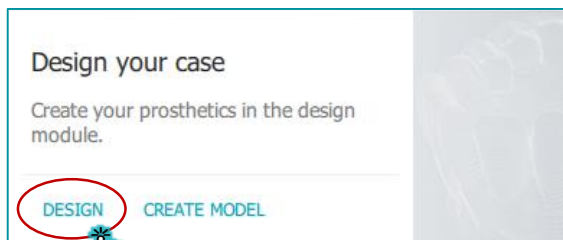


【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

スキャンを完了すると、DTX STUDIOプラットフォームにデザイン項目が表示されます。

【Design】をクリックし、デザイン画面を開きます



以下の項目に該当する場合は、デザインソフトが立ち上がりません

- ドングルがUSBポートに装着されていない
- ドングルライセンスが切れている
- DTX STUDIO Labライセンスが更新されていない

CAD ASC Abutment Scanned
 NobelBiocare Overdue

Scanが終了すると、ステータスを変更されます

The screenshot shows the DTX Studio Lab interface. On the left is a sidebar with navigation options: Requests, Cases, Orders, and Patients. The main area displays a list of 7 cases found, sorted by due date. The selected case is 'CAD ASC Abutment - NobelBiocare' with a 'DUE TODAY' badge. The case details panel on the right shows restoration details for 'Tooth 21' (Screw retained crown, Zirconia Medium Central Connection RP - Angulated), case details (Patient Case ID: CAD ASC Abutment, Due date: 5/6/2019), and clinician details (Requested by: NobelBiocare). The main content area shows a 'Design your case' section with 'DESIGN' and 'CREATE MODEL' buttons, a 'Model scan' section with a 3D model of a dental arch, and a 'Description form' section with a diagram of teeth.

DTX STUDIO Labのプラットフォーム

CAD・ASC Abutment / CAD・ASC アバットメント

- ASC Abutment Design / ASC アバットメント デザイン



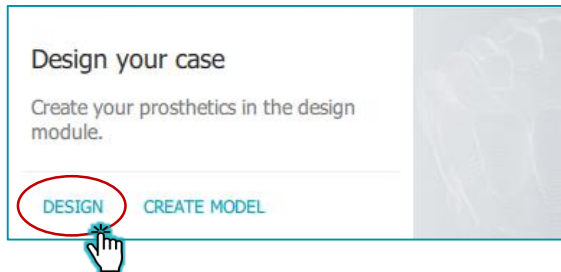


【新規デザインを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

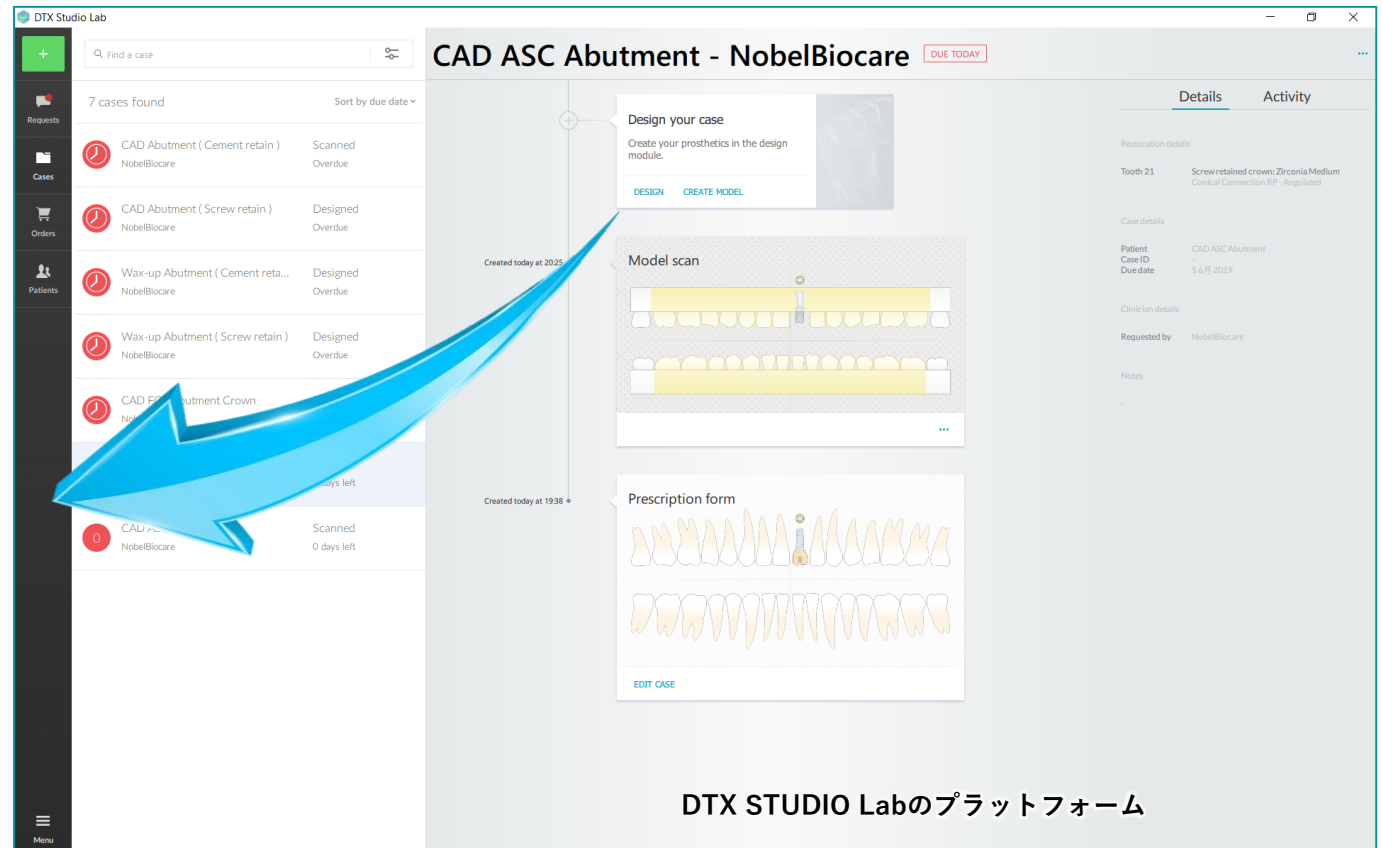
DTX STUDIOプラットフォームからデザインを開始します

【Design】をクリックし、デザイン画面を開きます



以下の項目に該当する場合は、
デザインソフトが立ち上がりません

- ドングルがUSBポートに装着されていない
- ドングルのライセンスが切れている
- DTX STUDIO Labライセンスが更新されていない



DTX Studio™ Lab 1.10

● ASC Abutment Design/ ASC アバットメント デザイン



Design



【新規デザインを開始する】

デザインソフトの立ち上げ

【デザインソフトを立ち上げます】

DTX STUDIO Designのロゴが表示され別ウィンドウでデザイン画面が立ち上がります

途中ドングル・ライセンスの確認画面が表示されますので、【了解】をクリックし、デザイン画面を立ち上げます



マウスの操作



左クリック：
決定/選択



右クリック：
画像の回転



左右クリック：
画像の移動



ローラー：
画像の拡大/縮小



デザイン画面左上に、【表示/非表示】オブジェクトが表示されています。

各項目のボックスにチェックを入れると3Dが表示されます。また、各項目タイトルにカーソルを合わせると、ゲージが出現します。ゲージのつまみを左右に左ドラッグすると、3D表示の濃度を変更できます。



DTX STUDIO Labのデザインソフト画面



LS3 スキャナーでカラーキャンをした場合の表示



【カラー表示の切り替え】

LS3 スキャナーでカラーキャンをした場合、【色/表面性状】ボタンから、カラー/モノクロが切り替えられます。

*LS3 スキャナーでカラーキャンをした場合のみ



【新規デザインを開始する】

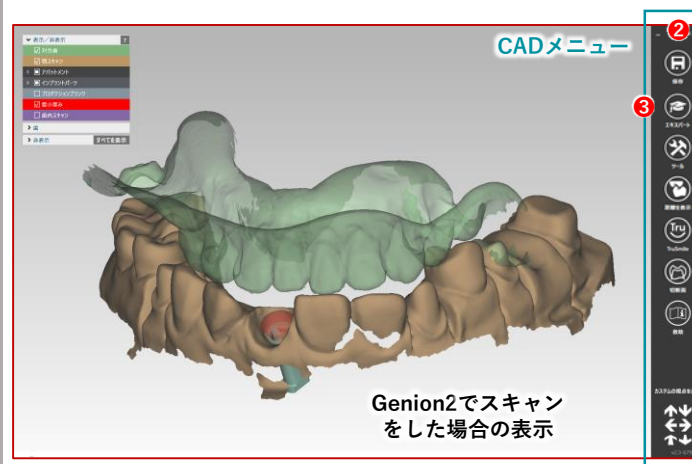
デザインの準備（穴埋め/削除）

【スキャンデータの調整をします】

【メッシュの編集】機能を使用し、余分なスキャンデータを切り取ります。

【メッシュの編集】機能は、修復する顎、対合歯、歯牙、バイトなど、様々なデータの不要箇所の切り取りや、スキャンできなかった部分の穴埋めを行うことができます

本項では、バイト・インディックスの編集を例に解説します。

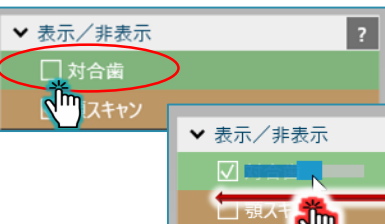


2 画面右にあるCADメニューから、3 【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

3 エキスパート・モードを起動します

エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

右クリック：Context Menuの表示



1 画面左上にある【表示/非表示】オブジェクトから、【対合歯】に左クリックでチェックを入れ、対合歯を表示させます。調整ツマミを使用し、3D表示の濃度を調整します。



対象のデータ上にカーソルを合わせ、右クリックを押します。

コンテキストメニューから【メッシュの編集】機能を選択します。



【新規デザインを開始する】

デザインの準備（穴埋め/削除）

【スキャンデータの調整をします】

【3Dデータエディター】機能を使用し、余分なスキャンデータの削除/穴埋めを行います。

選択された3Dデータは【黄色】に反転されます。

左クリック/左ドラッグで範囲を指定し、範囲を囲んで指定する機能の場合は、Wクリックで範囲指定します。

範囲選択

- ▶ **【透過で選択】**
表面や裏面、重なったデータを連続して範囲指定します。
- ▶ **【表面上で選択】**
画面の最表層に見えるデータのみを範囲指定します。
- ▶ **【表面をクリックして選択】**
連続したデータを1クリックで指定します。途切れているデータは指定されません。
- ▶ **【すべて】**
全てのデータを1クリックで選択します。
- ▶ **【なし】**
選択後、反転している指定箇所を全てリセットします。
- ▶ **【反転】**
選択範囲と、その他の箇所を逆転し指定範囲を反転します。

動作

- ▶ **【削除】**
範囲指定し、黄色くなった範囲を削除します。
- ▶ **【クロップ】**
範囲指定し、黄色くなった範囲以外を削除します。
- ▶ **【分割】**
範囲指定した部分が、連続したデータから分割されます。
- ▶ **【穴を閉じる】**
選択した範囲内にある空隙を埋めます。穴の外周全てがデータに囲まれている必要があります。
- ▶ **【元に戻す】**
ひとつ前の操作に戻します。
- ▶ **【やり直す】**
【元に戻す】操作で戻った操作を元に戻し(やり直し)ます。

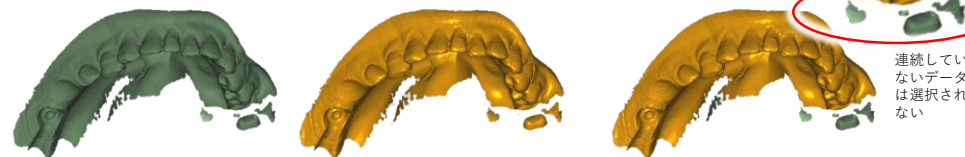
● 削除：左クリック/左ドラッグで範囲を指定

【範囲指定】 → 【範囲決定】 → 【反転】 → 【削除】



● 削除：1クリックで範囲を指定

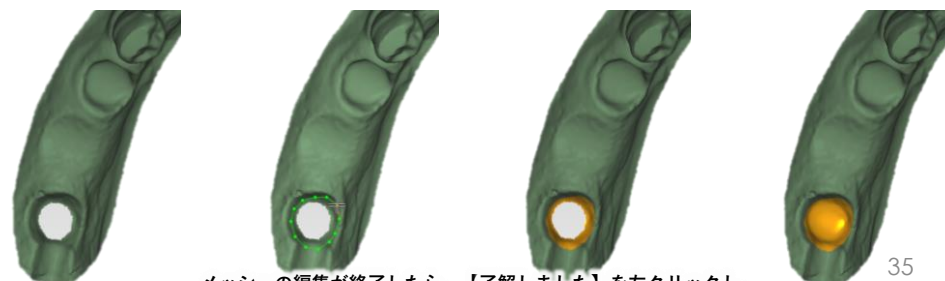
【調整前】 → 【すべて】 → 【表面をクリックして選択】



連続していないデータは選択されない

● 穴埋め：左クリック/左ドラッグで範囲を指定

【調整前】 → 【範囲指定】 → 【範囲決定】 → 【穴を閉じる】



メッシュの編集が終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻りデザインを再開します。

3Dデータエディター

完了するためにダブルクリックします。選択を解除する場合は、

透過で選択
 表面上で選択
 表面をクリックして選択

すべて なし 反転

動作

削除	クロップ
穴を閉じる	分割
元に戻す	やり直す
了解しました	キャンセル

DTX Studio™ Lab 1.10

● ASC Abutment Design/ ASC アバットメント デザイン



Design



【新規デザインを開始する】

アバットメントのマージン設定

【マージンラインを決定します】



① ウィザード欄の【検出】タブから【ポイントの追加】を選択します。マージン相当部に左クリックで、4点ポイントを付与します。*図1

ソフトウェアがマージンを自動検出します。*図2

図1

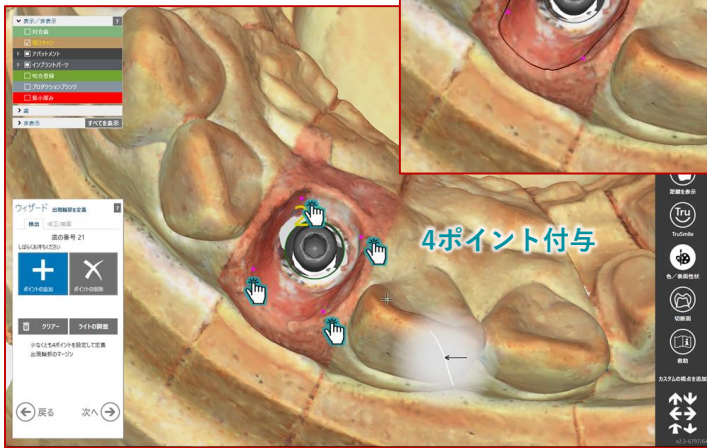
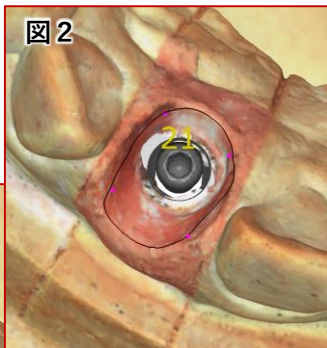


図2



② 自動検出にて設定されたマージンラインを修正するには、ウィザード欄の【修正/描画】タブから【移動】を選択します。

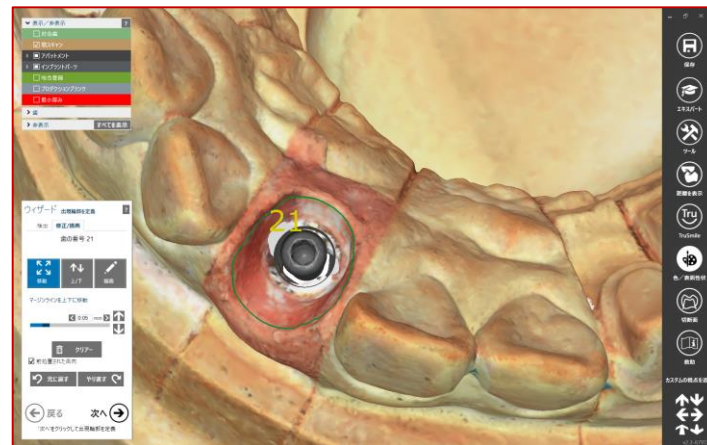
自動検出されたマージンラインがポイント付きの緑色へ変化します。*図3
ポイントを左ドラッグして、マージンを修正します。*図4

③ 設定が完了したら、[次へ] を左クリックしてマージンの設定を決定します



POINT

ポイントを追加するには左クリック、消去するには左ドラッグの状態ですぐ右クリックします。





【新規デザインを開始する】

歯牙データの挿入

【症例に合わせて、歯牙データを挿入します】



ウィザード欄の【選択】タブから挿入する歯牙のタイプを選択します。

【ライブラリーデータの使用】

・ソフトウェアのライブラリーデータを使用する場合は【次へ】をクリックし、次の項目で配置設計をします

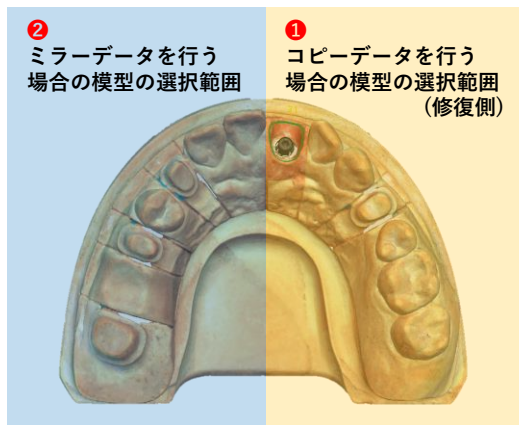
① 【コピーデータの使用】

・模型上の歯牙をコピーしてデザインを行う場合は、【コピー】を選択した後、コピーしたい模型の歯牙を左クリックで選択します。

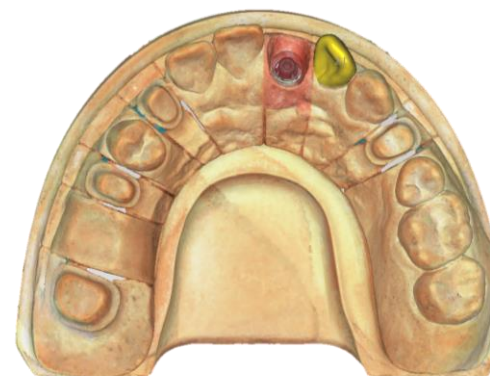
② 【ミラーデータの使用】

・模型データの反対側同名歯を反転コピーしたい場合は、②の【ミラー】を選択した後、模型の歯牙を左クリックで選択します。

③ 選択が終了したら、【次へ】を左クリックします。



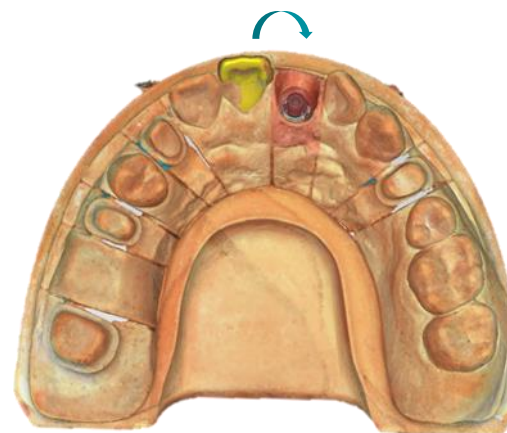
本項で使用している模型も場合



① コピーデータを使用した場合



【主に白歯部に使用】



② ミラーデータを使用した場合



【主に前・白歯部に使用】



【新規デザインを開始する】

歯牙の配置設定

【ウィザード各項目を使用し、歯牙を歯列へ配置を行います】

ウィザード 歯の配置

① シンプル ② チェーンモード ③

移動 回転 スケール

● 全方向
○ 近心/遠心方向のみ
○ 頬側/舌側方向のみ
○ 咬頭方向のみ
○ 近心/遠心 + 頬側/舌側

同時にすべてを移動

① コンテキストメニューを使用して変更する歯のタイプアリ。

元に戻す やり直す

戻る 次へ

移動 回転 スケール

① 左ドラッグで移動します

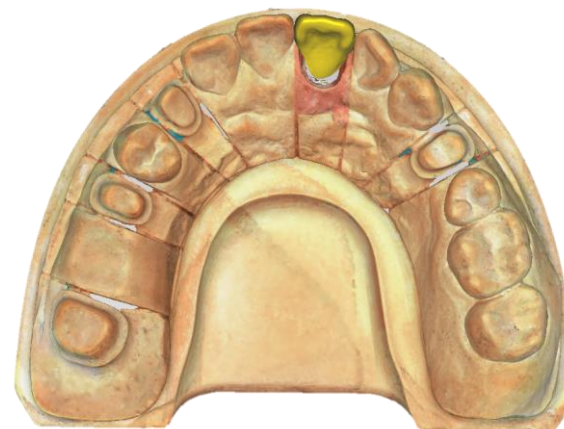
移動 回転 スケール

② 左ドラッグで回転します

移動 回転 スケール

③ 左ドラッグで拡大/縮小します

配置設定が終了したら、【次へ】を左クリックします。





【新規デザインを開始する】

サブジンジバル・カントウアのデザイン

【顎スキンの表示を薄くし、歯肉貫通部を可視化します】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

形状

1 トップアングル

2 ボトムアングル

3

4

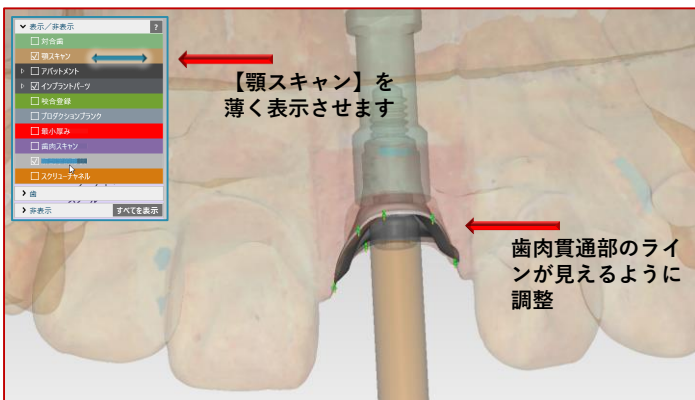
5 以下

6

マージンを上/下に移動
全方向に移動
マージン移動 イン/アウト
歯肉へ差し込む

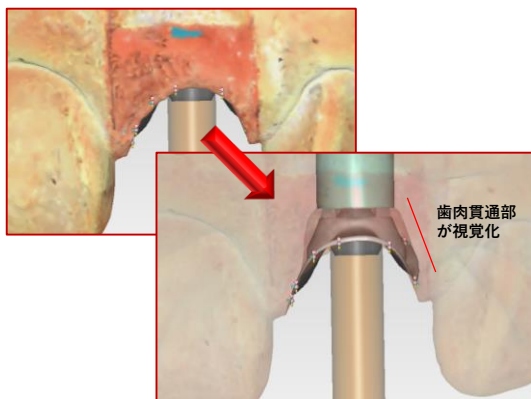
元に戻す やり直す

戻る 次へ



ウィザード欄の【下部】タブの項目を使用し、アバットメントのプロファイルをデザインします。

歯肉貫通部の形状が見えやすいように、【表示/非表示】ウィンドウから【顎スキン】を薄く表示させます



【プロファイル形状を決定します】

形状

トップアングル 1

ボトムアングル 2

【形状】の項目を使用し、アバットメント・プロファイルのトップとボトムをデザインします。

ゲージをスライドさせると形状が変更されます

3 4

フリーフォーム 視覚化 リミット?

以上 0.2

5 以下 0.2

丸めを適用
コントロールキー 制御点を追加

フリーフォーム (Shiftキー)

0.2 -0.1 0 0.1 0.2

POINT

5 視覚化ゲージ 0.2 -0.1 0 0.1 0.2

ゲージをスライドさせると数値が変更

以上:
0から歯肉から離れていく方向の値

以下:
0から歯肉へ向かっていく方向の値

オリジナル:

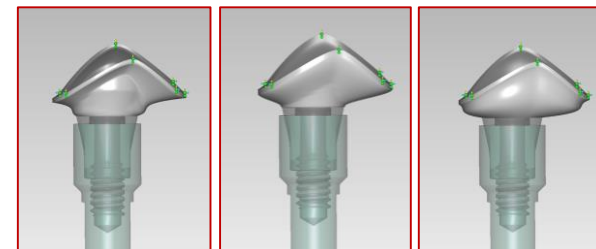
何もいじっていない状態

1 トップアングル

マージンライン付近の豊隆を調整

2 ボトムアングル

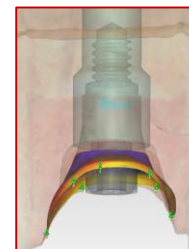
接合部付近の豊隆を調整



3 フリーフォーム

左ドラッグで自由変形を行う

ボリュームを増やしたい箇所にカーソルを合わせ、左クリック及び左ドラッグでボリュームを任意に増やすことができます。減らすときは【Shift】キーを押しながら左ドラッグをします



4 視覚化

歯肉内面との接触状態を色で表示します。

赤色: 歯肉へ強く接している状態
黄色: 歯肉へほぼピッタリと接している状態
青色: 歯肉へ接触していない状態

【視覚化】にチェックを入れると、視覚表示のゲージが有効化されステータスを変更することができます。

DTX Studio™ Lab 1.10

● ASC Abutment Design/ ASC アバットメント デザイン



Design



【新規デザインを開始する】

サブジンジバル・カントウア的设计

【プロファイル形状を決定します】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

形状

トップアングル <>

ボトムアングル <>

フリーフォーム 視覚化 リミット?

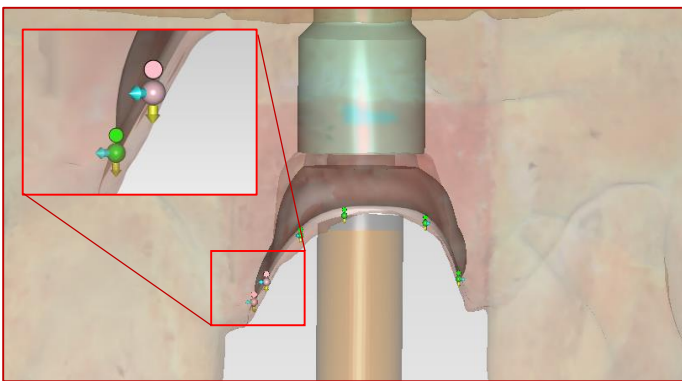
以上 < 0.2 >

以下 < 0.2 >

↑ マージンを上/下に移動
↔ 全方向に移動
↔ マージン移動 イン/アウト
● 歯肉へ差し込む

← 元に戻す やり直す →

← 戻る 次の →

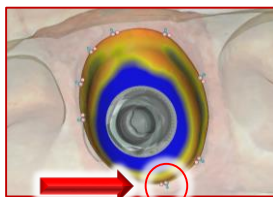


↑ マージンを上/下に移動
↔ 全方向に移動
↔ マージン移動 イン/アウト
● 歯肉へ差し込む

⑥ ウィザード欄の説明にあるように、ポイントとを左ドラッグで動かし、マージン位置を再設定することができます。

POINT マージンポイントの追加

マージンのポイントを追加する場合は、キーボードの【Ctrl】を押しながら左クリックをします。



【歯肉へ差し込む】をクリックすると切り替えができます

● 緑色のポイントは歯肉に沿って移動ができます

● ピンク色のポイントは歯肉内へ差し込むことが可能です。

【アバットメント下部と上部デザインの境界の高さ設定】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

***外観境界線/境界の輪郭

高さ < 0.24 > mm

半径 < 0 > mm

インプラントより下を実行する

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

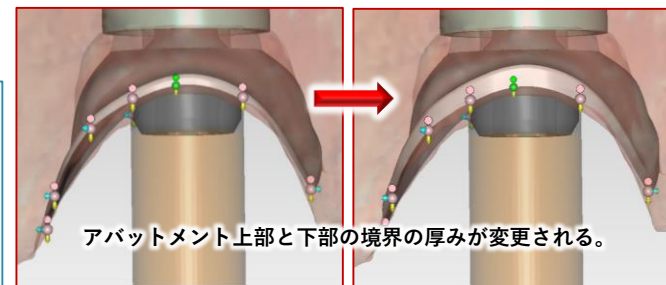
***外観境界線/境界の輪郭

高さ < 0.5 > mm

半径 < 0 > mm

インプラントより下を実行する

ウィザード欄の【高度な】タブをクリックします。
【外観境界線/境界の輪郭】ゲージを調整しデザインを決定します



アバットメント上部と下部の境界の厚みを変更される。

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

***外観境界線/境界の輪郭

高さ < 0.24 > mm

半径 < 0 > mm

インプラントより下を実行する

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

***外観境界線/境界の輪郭

高さ < 0.5 > mm

半径 < 0 > mm

インプラントより下を実行する

← 戻る 次の →

プロファイルデザインが終了したら、【次へ】を左クリックします。

DTX Studio™ Lab 1.10

● ASC Abutment Design/ ASC アバットメント デザイン



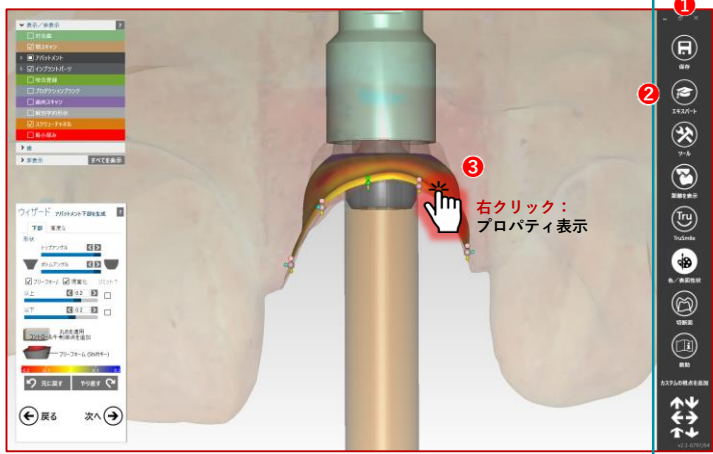
Design



【新規デザインを開始する】

サブジンジバル・カントウアのデザイン
- アドバンスデザイン -

【プロフィール形状を自由にデザインする方法】



CADメニュー

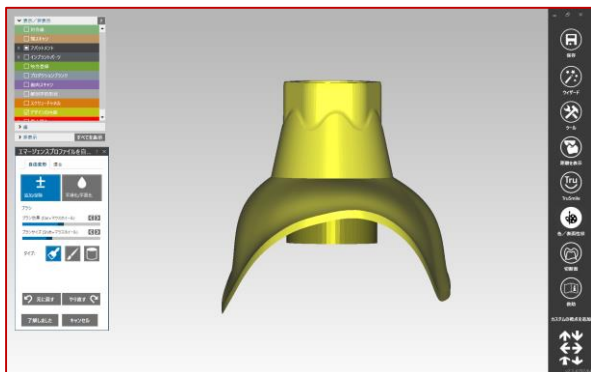
①画面右にあるCADメニューから、②【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

② エキスパート・モードを起動します

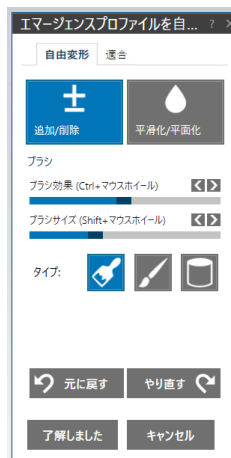
エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

③アバットメント上にカーソルを合わせ、右クリックで、【プロパティ】を表示します。(左図)

④プロパティから【エマーゼンスプロフィールを自由形成する】を選択し、デザインを行います。



【プロフィール形状を自由にデザインする方法】



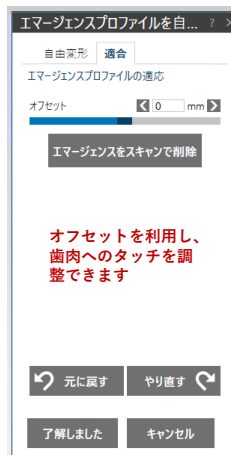
ウィンドウから【自由形状】タブを選択し、【追加/削除】【平滑化/平面化】コマンドから自由にデザインを行います。

自由形状の操作方法につきましては、【歯冠形態のデザイン】の項を参照



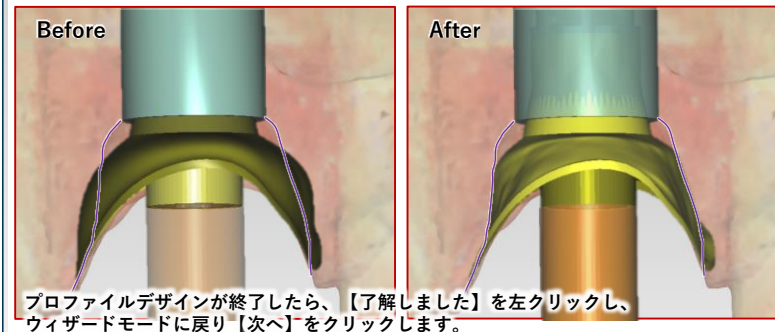
プロフィールデザインが終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻り【次へ】をクリックします。

【プロフィール形状を歯肉に合わせる方法】

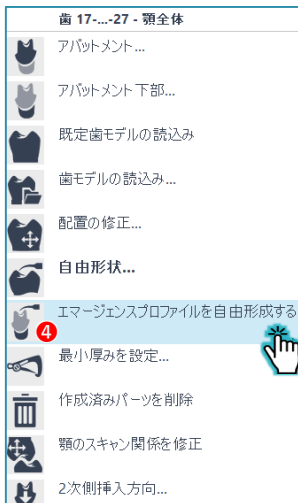


ウィンドウから【適合】タブを選択し、【エマーゼンスをスキャンで削除】ボタンをクリックすると、歯肉に適応します。

元々のデザインが、歯肉内面に触れていない場合は、歯肉へ適応しませんので、十分にデータ量に厚みを持たせておくことがポイントです。また、オフセットで歯肉の圧排調整も可能です



プロフィールデザインが終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻り【次へ】をクリックします。



DTX Studio™ Lab 1.10

● ASC Abutment Design/ ASC アバットメント デザイン



Design



【新規デザインを開始する】

スクリューアクセスホールのデザイン

【アクセスホールを決定します】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

***外観境界線/境界の移動

高さ < 0.24 mm >

半径 < 0 mm >

インプラントより下を実行する

スクリューチャネルを角度付け

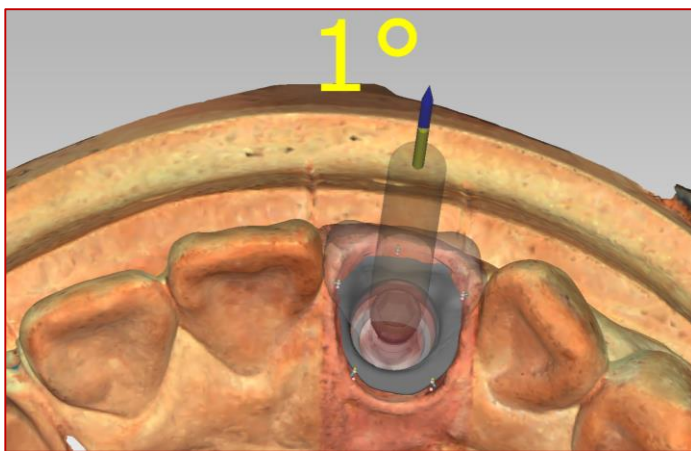
7 クリック可能 すべてリセット

▼ 全てのマージンを移動

イン 上へ アウト 下へ

全てはがす 全て再接続する

戻る 次へ



ウィザード欄の【高度な】タブの項目を使用し、アバットメントスクリューアクセスホールを設定します。

POINT 歯牙形態の表示

アクセスホールを適正な位置に設定するため、歯牙形状を表示すると設定し易くなります。

▼ 表示/非表示

対合歯

歯スキャン

▶ アバットメント

インプラントパーツ

咬合登録

プロダクションプランク

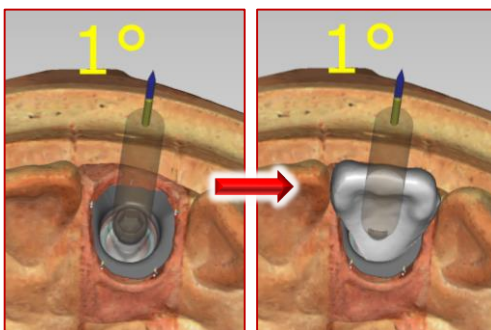
歯肉スキャン

最小厚み

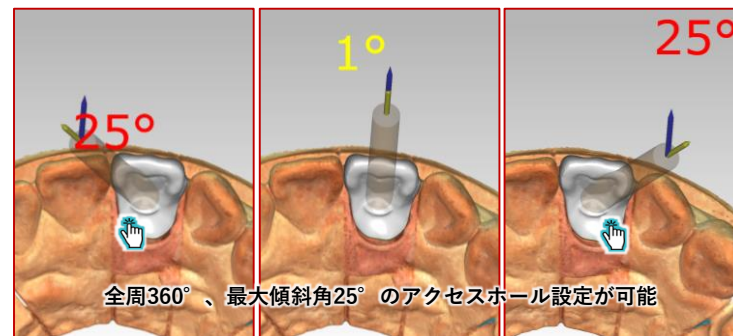
解剖学的形状

7 スクリューチャネル

非表示 すべてを表示



ウィザード欄の【高度な】タブ内にある、**7**【スクリューチャネルの角度付け】の【クリック可能】を選択し、3Dデータ上でアクセスホールの位置をクリックで決定します。



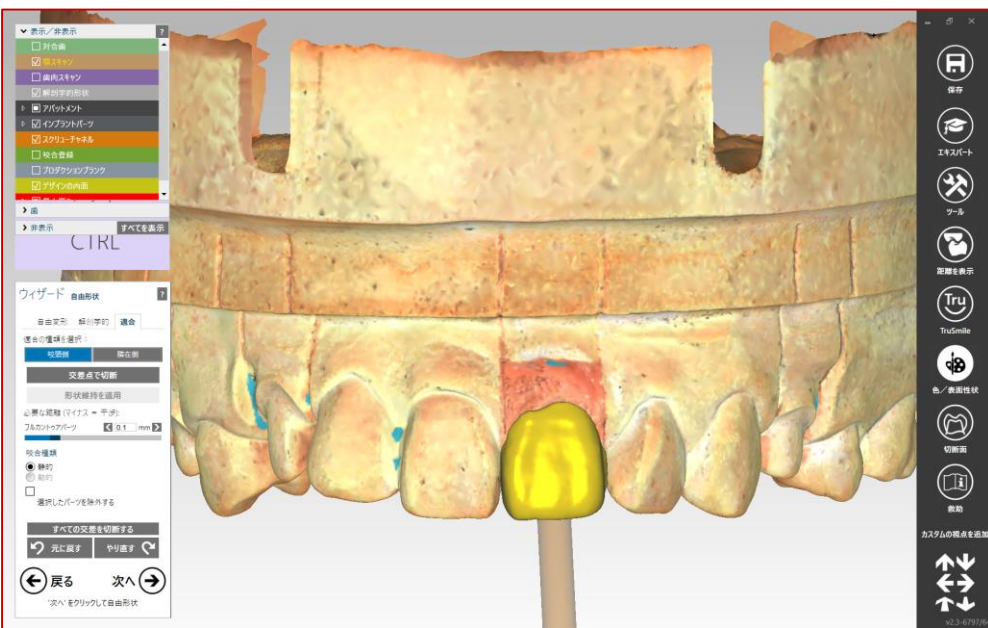
プロファイルデザインが終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

歯冠形態のデザイン

【自由形状をデザインします】 - クラウン -



ウィザード欄の

- ① 【自由変形】
- ② 【解剖学的】
- ③ 【適合】

タブ内の項目を使用し、歯冠形態をデザインしていきます



【解剖学的特徴のデザインを行います】 - クラウン -



ウィザード欄の【解剖学的】タブをクリックします。
【咬頭】【歯のパーツ】【歯全体】【隆線】の項目から、症例に合わせて歯冠データを調整します

① 【咬頭】

咬頭部(または一部分)の形態を変更できます

② 【歯のパーツ】

歯のブロック(近心、遠心、頬側、舌側)部分の形態を変更できます

③ 【歯全体】

歯全体の位置を動かす変更ができます
根尖側を軸にあらゆる方向に移動できます

④ 【隆線】

隆線部(または一部分)の形態を変更できます

POINT 形状変形

左クリックでツマミ、左ドラッグで変形させます。



【新規デザインを開始する】

歯冠形態のデザイン

【自由変形のデザインを行います】 - クラウン -



ウィザード欄の【自由変形】タブをクリックします。
【追加/削除】 **【平滑化/平面化】** **【ブラシ効果】** **【ブラシサイズ】**
【タイプ】の項目から、症例に合わせクラウンのデザインを行います。

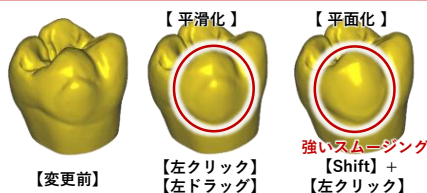
1 【追加/削除】

【左クリック＆ドラッグ】
 でデータを追加できます。
 データを減らす場合は
**【Shift】 + 【左クリックor
 ドラッグ】**で削除できます



2 【平滑化/平面化】

【左クリック＆ドラッグ】
 でデータを平滑できます。
 強スムージングの場合は
**【Shift】 + 【左クリックor
 ドラッグ】**で実行します。



3 【ブラシ効果】

データの追加/削除量を変更します
 ゲージの右側が強くなり、カーソルの色が濃くなります

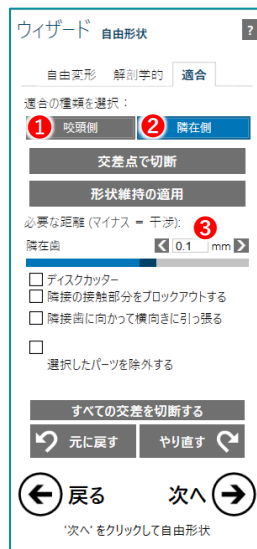
4 【ブラシサイズ】

データの追加/削除範囲を変更します
 ゲージの右側が強くなり、カーソルの範囲が変更します

5 6 7 【ブラスタイプ】

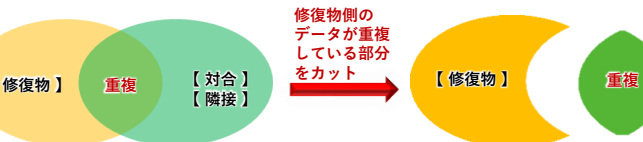
- 5 デフォルト：ハケタイプのブラシで範囲が大きいのが特徴
- 6 ナイフポイント：非常に小さい範囲設定が可能で咬合面の溝形成向き
- 7 シリンダー：円柱状のデータ構築が可能で、ノブやハンドル形成向き

【適合のデザインを行います】 - クラウン -



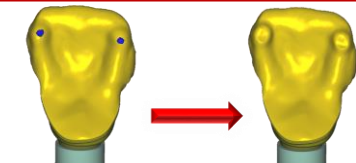
ウィザード欄の【適合】タブをクリックします。
 表示された項目から、データ同士が重複している(咬合及び隣接)部分
 のデータをカットします。
 (製作するプロダクトにより表示が異なってきます)

交差点で切断
 形状維持の適用



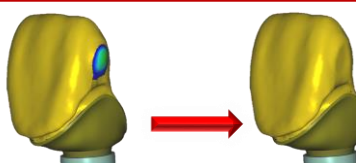
1 【咬頭側】

対合歯と交差している部分の
 データを削除します



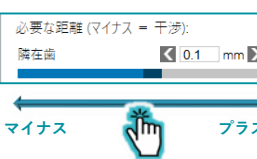
2 【隣在側】

隣接歯や模型部分と交差して
 いるデータを削除します



3 【必要な距離】

データの交差量を調整します
 マイナス：干渉
 プラス：空隙



右図の距離(-0.1mm、0mm、0.1mm)

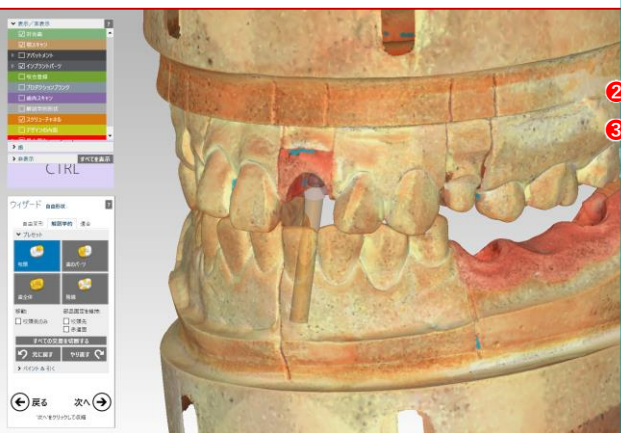
デザインが終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

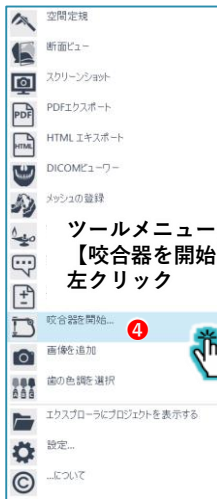
咬合器の開始

【咬合器を設定します】

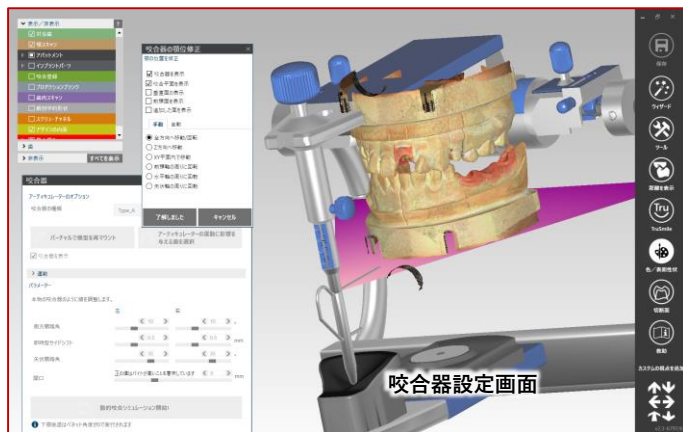


CADメニュー

- 1 画面右にあるCADメニューから、2 【エキスパート】モードを左クリックで起動します。次いで、3 【ツール】を左クリックし、4 【咬合器を開始】を左クリックします。
- 2 エキスパート・モードを起動します
- 3 ソフトウェアの各種ツール機能が格納されています
エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。



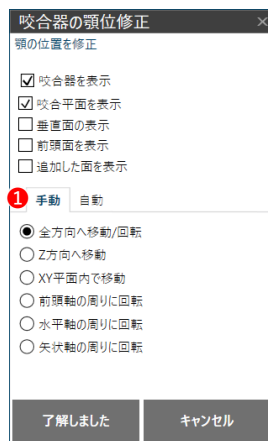
ツールメニューから【咬合器を開始】を左クリック



咬合器設定画面

【咬合器に模型を配置する】

咬合器の顎位修正ウィンドウから、1 【手動】および、2 【自動】タブをクリックし、各項目から模型を配置し【了解しました】ボタンを押すと、模型が咬合器に装着されます。



1 【手動】

項目を選択し、左ドラッグで模型を移動させ、咬合器に配置します。

- **全方向へ移動/回転：**
左ドラッグで移動 / Ctrl + 左ドラッグで回転します
- **Z方向へ移動：**
模型が上下に移動します
- **XY平面内で移動：**
模型が前後左右に移動します
- **前頭軸の周りに回転：**
咬合面観から模型が回転します
- **水平軸の周りに回転：**
側方面観から模型が回転します
- **矢状軸の周りに回転：**
正面観から模型が回転します



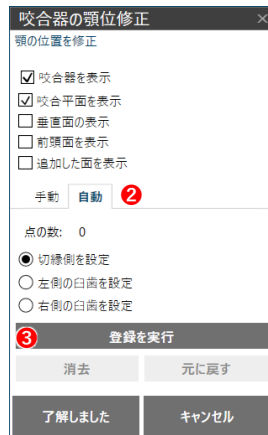
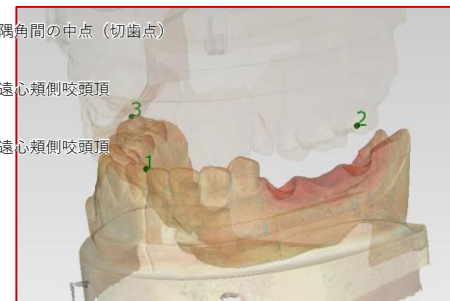
2 【自動】

項目で指定されている模型データ上の部位へ、ポイントを置き自動で配置します。咬合器に表示されている咬合平面が基準となる配置方法です。

- 1. **切縁側を設定：**
下顎左右中切歯の近心隅角間の中点 (切歯点)
- 2. **左側の臼歯部：**
下顎左側第二大臼歯の遠心頬側咬頭頂
- 3. **右側の臼歯部：**
下顎右側第二大臼歯の遠心頬側咬頭頂

3 【登録を実行】

【登録を実行】ボタンを押すと咬合器へ自動配置します



DTX Studio™ Lab 1.10

● ASC Abutment Design/ ASC アバットメント デザイン



Design



【新規デザインを開始する】

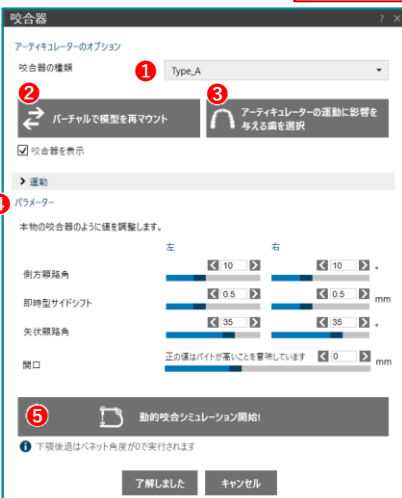
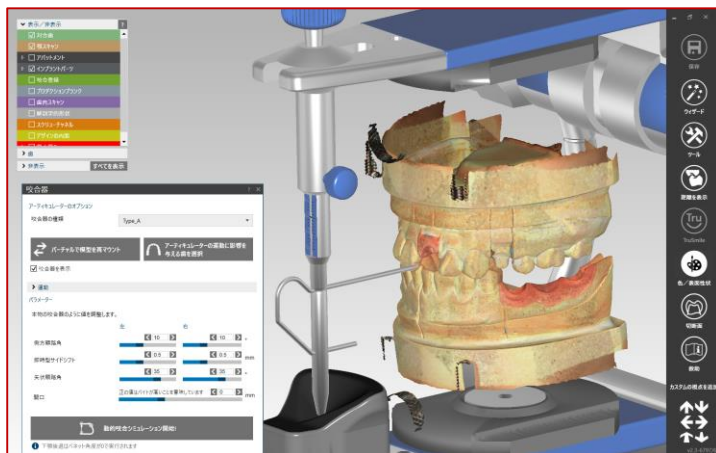
咬合器の開始

【咬合器を選択/調整/開始します】

咬合器へ模型装着完了後、
【咬合器】の各項目から、

咬合器の種類、
再マウント、
顎運動の歯牙設定、
咬合器パラメータ設定、
咬合器開始

を調整します。

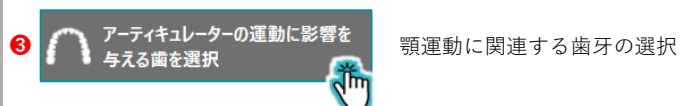


咬合器

各項目を選択し、咬合器を選択/調整/開始します。

- 咬合器の種類：
全11種から選択します
- バーチャルで模型を再マウント：
前項で設定したマウントを再調整します
- 咬合器の運動に影響を与える歯の選択：
顎運動に関与する歯牙の指定をします
- 咬合器のパラメータ調整：
咬合器の詳細設定を行います。
- 動的咬合シミュレーション開始：
設定したパラメータで咬合器機能を開始します

【咬合器を選択/調整/開始します】

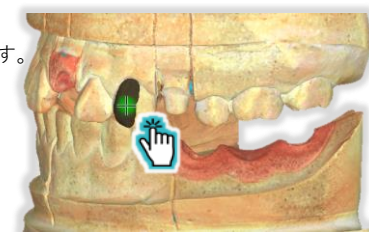


ウィンドウから、【ブラシを用いて】または、【歯牙を用いて】タブのどちらかを選択し、顎運動に影響する歯牙を選択します。(このステップを省略した場合は、咬合器の運動が適応されます)



【除外するためにパーツに色を付ける】ボタンを選択し、ブラシで歯牙に色を塗っていきます。

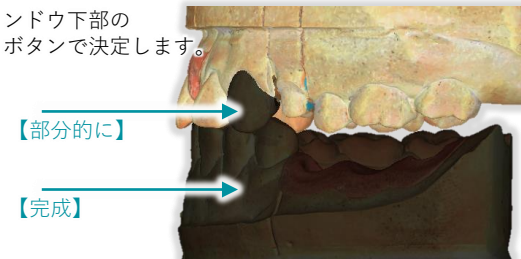
終了したら、ウィンドウ下部の【了解しました】ボタンで決定します。



【クリックして歯をマークする】ボタンを選択し、歯牙を左クリックで選択します。

【部分的に】にチェックすると、選択した歯牙に色が塗られます
【完成】にチェックすると顎全体に色が塗られます。

終了したら、ウィンドウ下部の【了解しました】ボタンで決定します。





【新規デザインを開始する】

咬合器の開始

【咬合器を選択/調整/開始します】

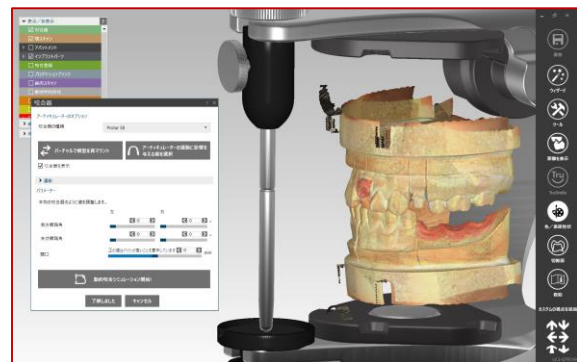
5 動的咬合シミュレーション開始! 咬合器を開始します

5 【動的咬合シミュレーション開始!】 ボタンを左クリック後、咬合器が動き顎運動を開始します。動作が終了したら、【了解しました】 ボタンを左クリックし、デザインを再開します。(デザインを再開すると、咬合器の表示は消えます。)

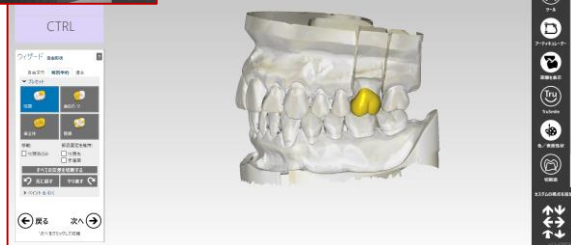
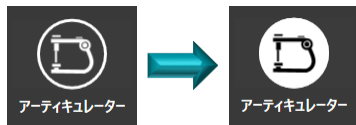
デザインを再開するには、【エキスパート・モード】から【ウィザード・モード】に切替えます。CADメニューから、【ウィザード】 ボタンをクリックし、【ウィザード・モード】に変更します。



【ウィザード】 ボタンをクリックし、【ウィザード・モード】に変更します。



メニューバーの【アーティキュレーター】アイコンが白塗りに変更し咬合器が開始されます。

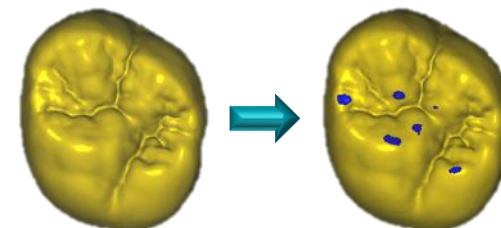


【顎運動の開始】

CADメニューの【距離を表示】 ボタンを有効化します。アイコンが白塗りに変更します。



デザインするクラウンに対合情報が表示され、画面上部に接触距離ゲージが表示されます



接触距離ゲージ



咬合器が開始されると画面右上に、顎運動コントロールパネルが表示されます。動かしたい項目にチェックを入れ、ゲージを動かすと咬合器が動きます

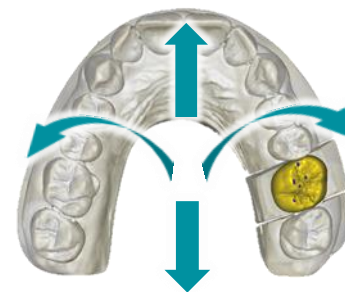
顎運動の繰り返し

- 下顎前方運動
- 下顎後方運動
- 左側方運動
- 右側方運動

顎を動かすためにスライダーをドラッグ

動かせる顎運動

- 下顎前方運動
- 下顎後方運動
- 左側方運動
- 右側方運動



顎運動は実際の咬合器と同様、上顎が動きます

DTX Studio™ Lab 1.10

● ASC Abutment Design/ ASC アバットメント デザイン



Design



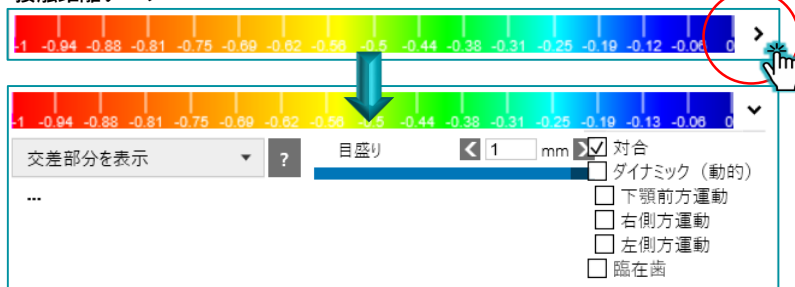
【新規デザインを開始する】

咬合器の開始

【顎運動の開始】

画面の上部に表示されている、接触距離ゲージの右側に配置されている【>】マークをクリックし、顎運動を効率的に調整することができます。

接触距離ゲージ



表示された、顎運動のオプション画面から咬合を調整します。

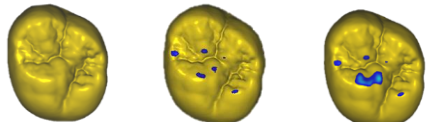
・ゲージの目盛りを調整し、視覚化の情報をコントロールできます。

・各運動路の接触経路を表示します

- 対合 : 中心咬合位のコンタクトポイントを表示します。
- ダイナミック : 全方向運動時の接触経路を表示します
- 下顎前方運動 : 下顎前方運動時の接触経路を表示します
- 下顎後方運動 : 下顎後方運動時の接触経路を表示します
- 右側方運動 : 下顎右側方運動時の接触経路を表示します
- 左側方運動 : 下顎左側方運動時の接触経路を表示します
- 隣在歯 : 隣在歯との接触点を表示します

咬合接触点

【非表示】 【咬合】 【ダイナミック】



咬合接触点

【非表示】 【隣接接触面】



【顎運動の開始】

接触距離ゲージのオプションから、右図の【▼】を左クリックし、プルダウンを表示させます。拡張表示させたい接触範囲を指定し、視覚表示を拡張させることができます。

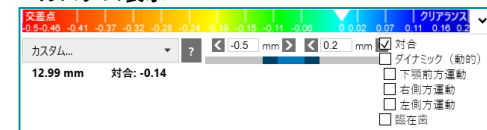
接触範囲拡張オプション

- ① 交差部分を表示 : データの交差している部分を視覚表示します。
- ② 近接部分を表示 : 接触点周囲の対合と近接している部分を視覚表示します。
- ③ カスタム : 表示された調整ゲージで、交差/近接範囲を変更することができます。
- ④ 隣在歯/正常歯を含む : 隣在歯や歯列の咬合接触点を視覚表示します。

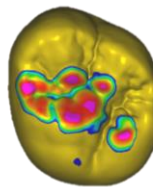
交差部分を表示

- ① 交差部分を表示
- ② 近接部分を表示
- ③ カスタム...
- ④ 隣在歯/正常歯を含む

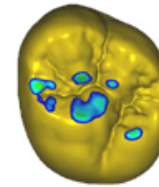
カスタム表示



【近接部分を表示】



【カスタム】



【隣在歯/正常歯を含む】



設定が完了したら、クラウンのデザインを行います

DTX Studio™ Lab 1.10

● ASC Abutment Design/ ASC アバットメント デザイン



Design



【新規デザインを開始する】

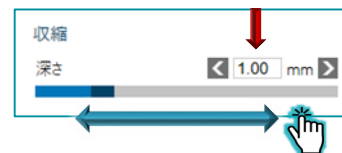
カットバックフレームをデザインします

【カットバックフレームをデザインします】

【フルカットバック】

クラウン全体をカットバックする場合

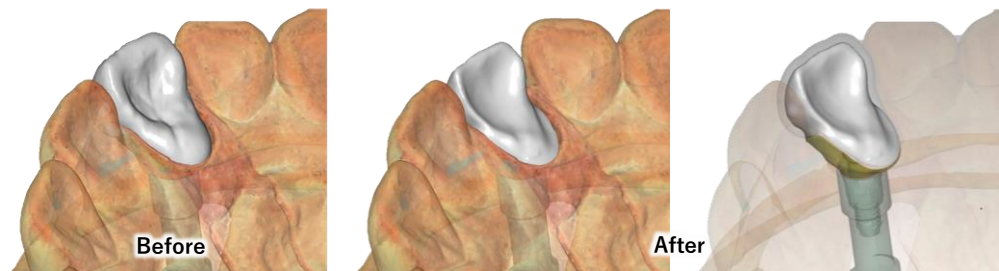
① 値の入力もしくは、ゲージ調整



クラウンデザイン最外形から、修復深さ設定値でカットバックされます

Step :

- ① 【収縮】の深さを設定します。
- ⑥ 【適用】をクリックします。
- カットバックされます。



POINT カットバックの表示

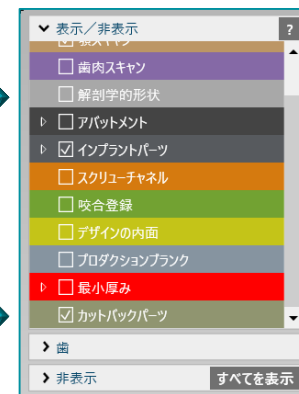
【カットバックが表示されない!!】

カットバックを行っても、3D画像に変化が見られない場合があります。

その場合は、【表示/非表示】オブジェクト内の、【解剖学的形状】のチェックを外し、【カットバックパーツ】のチェックを入れます。

【解剖学的形状】のチェックを外す

【カットバックパーツ】をチェックする



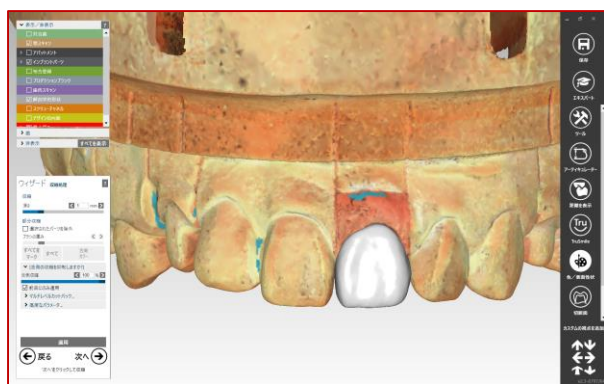
ウィザード 収縮処理

- ① 収縮
深さ < 1 mm >
- ② 部分収縮
 選択されたパーツを除外
ブラシの厚み < >
すべてをマーク すべて 舌側カラー
- ③ 【舌側の収縮を抑制しますか?】
舌側収縮 < 100 % >
- ④ 前歯にのみ適用
> マルチレベルカットバック...
- ⑤ > 高度なパラメータ...

⑥ 適用

← 戻る 次へ →

*次へをクリックして収縮



- ① 【収縮】：カットバック量を調整します。(深さ：0～5mm)
- ② 【部分収縮】：部分的なカットバックフレームのデザインをします。ブラシを使用し、クラウンにデザイン(色塗り)を行います。色が塗られた箇所以外がカットバックされます。
 - ・すべてをマーク：クラウン全体を選択します。
 - ・すべて：マークされた部分をクリアします。
 - ・舌側カラー：舌側カラーを設定します。
- ③ 【舌側の収縮を抑制しますか?】：舌側の収縮量調整をします。
 - ・0：カットバックしません
 - ・100：①の【収縮】深さに準じカットバックします。
 - ・【前歯部のみ】にチェックを入れると、臼歯部へは適応しません。
- ④ 【マルチレベルカットバック】：同一箇所カットバックが複数回できます。
- ⑤ 【高度なパラメータ】：最小厚みの設定 (in Lab milling のみ)
- ⑥ 【適用】：①～④のステータス設定後、適用ボタンでカットバックします。

POINT カットバック

①の【収縮】の深さを0mmにして、【次へ】を左クリックすると、カットバックなしで、次の項目に進みます。

フルクラウンタイプに使用できます



【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【パーシャルカットバック】



クラウンを部分的にカットバックする場合

Step :

1. ①【収縮】の深さを設定します。
2. ②【部分収縮】の【**選択された部分を除外**】にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。(適宜、**すべてをマーク・すべて・舌側カラー**を選択します。)
3. ⑥ デザイン終了後【適用】をクリックします。
4. カットバックされます。

【部分収縮】

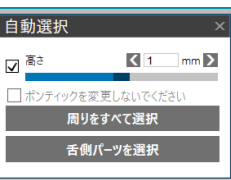
ブラシを使用し、クラウンにデザイン(色塗り)を行います。
色が塗られた箇所以外がカットバックされます。
 ・すべてをマーク：クラウン全体に青色が塗られます。
 【Shift】+左ドラッグで色を消し、デザインをします。
 ・すべて：青色に塗られ、マークされた部分をクリアします。
 ・舌側カラー：舌側カラーを設定します。
 【自動選択】ウィンドウが表示され、舌側カラーの高さと範囲が選択できます。(図1)
 【周りをすべて選択】：クラウン全周にカラーが付きます。
 【舌側パーツを選択】：クラウン舌側にカラーが付きます。

リングル・カラーの設定

【周りをすべて選択】

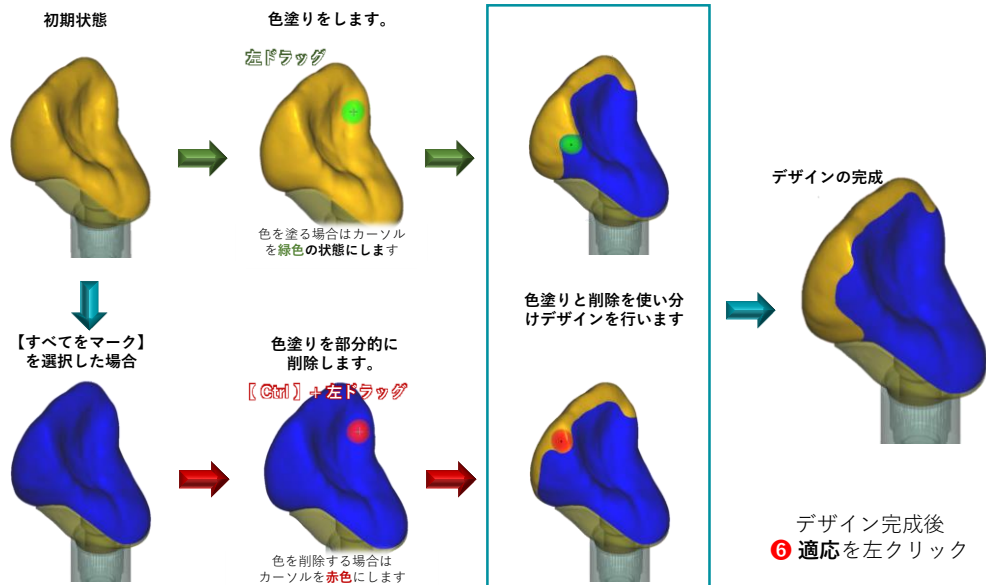
【舌側パーツを選択】

図 1



【パーシャルカットバック】

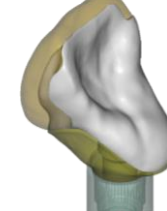
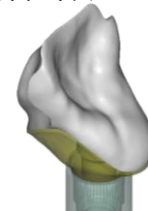
フリー・デザイン



カットバックフレームの完成

カットバックフレーム

カットバック量の確認



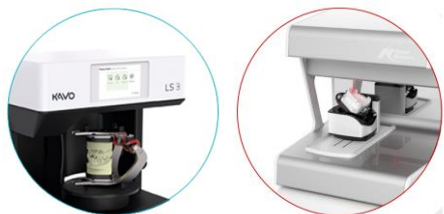
デザイン完成後
 ⑥ 適応を左クリック

DTX Studio™ Lab 1.10

● ASC Abutment Design/ ASC アバットメント デザイン



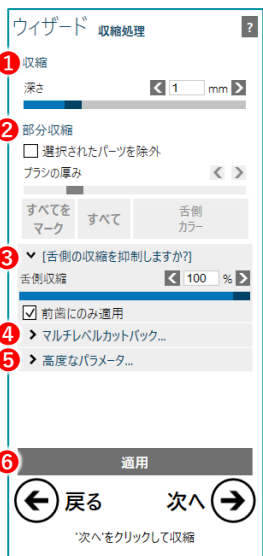
Design



【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【パーシャルカットバック】



【舌側収縮の抑止機能】

舌側一定範囲のカットバック機能

Step :

1. ①【収縮】の深さを設定します。
2. ③【舌側収縮を抑制しますか?】項目の舌側収縮ゲージを調整し、舌側部のカットバック量を調整します。(0~100%)
 - 0: 舌側部はカットバックしません。舌側以外は①の深さに準じてカットバックします。
 - 50: ①の深さ量の50%カットバックします。
 - 100: ①の深さ量に準じて100%カットバックします。

【前歯にのみ適用】にチェックを入れると、白歯部には適用されず、前歯部のみ適用されます。

チェックを外すと、白歯部にも適用します。(*図1)

3. ⑥ デザイン終了後【適用】をクリックします。
4. カットバックされます。

【舌側パーツを選択】

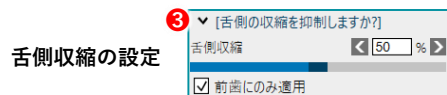
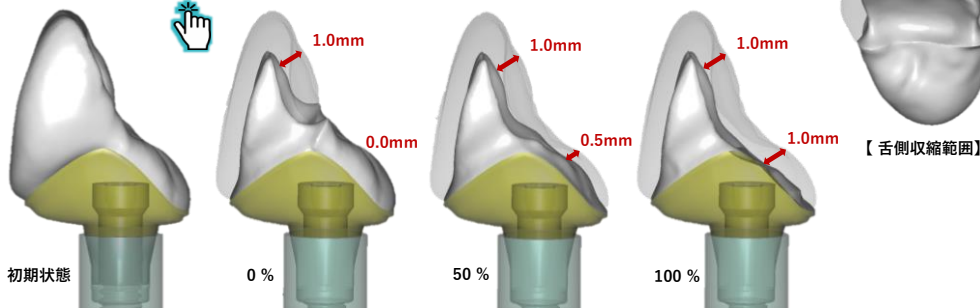


図1

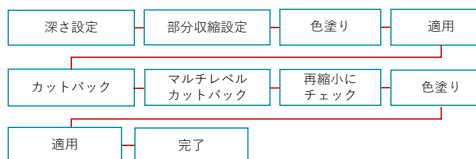


【パーシャルカットバック】

【マルチレベルカットバック】

複数回のカットバック操作

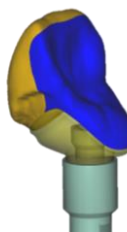
例) 前歯部唇側側の、ボディ部と切端部でカットバック量をパーシャルカットバックで変えたい場合
ボディ部 : 0.5mm
切端部 : 1.0mm



1. 設定
・深さ
・部分収縮



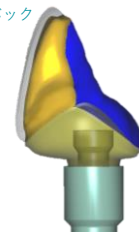
2. デザイン
・色塗り



3. カットバック
・適用



4. マルチレベル
カットバック
・再縮小に
チェック



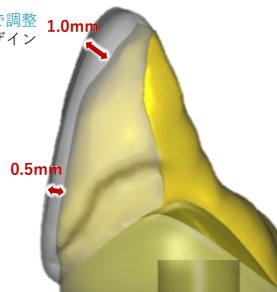
5. 追加デザイン
・色塗り



6. カットバック
・適用



自由形状で調整
・最終デザイン



デザインが完了したら、【次へ】をクリックします。

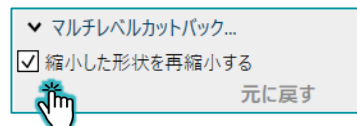


図2

Step :

1. ①【収縮】の深さを設定します。(例0.5mm)にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。
2. ②【部分収縮】の【選択されたパーツを除外】にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。
3. 【適用】をクリックしカットバックさせます。
4. ④【マルチレベルカットバック】をクリックし【縮小した形状を再縮小】にチェック (*図2) 最初のカットバックが残された状態で色塗りが可能になります
6. ②部分収縮で再度色塗りを実行
7. 【適用】をクリックすると、重ねてカットバックされます。

DTX Studio™ Lab 1.10

● ASC Abutment Design/ ASC アバットメント デザイン



Design

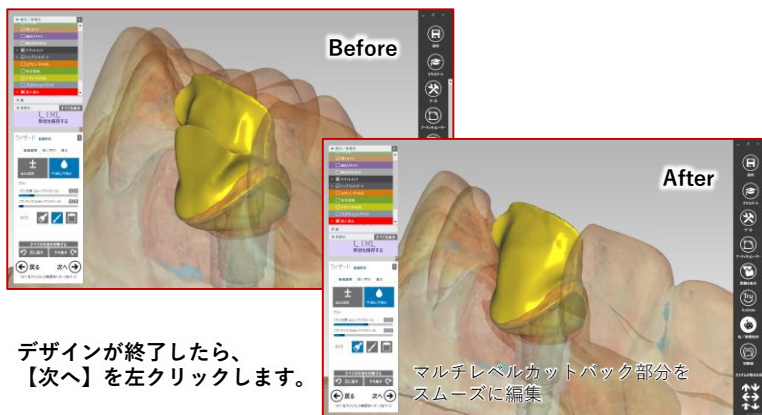
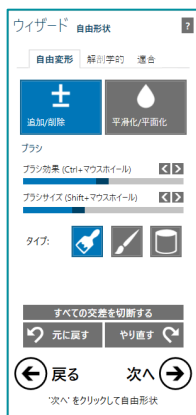


【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします
デザインの結合・完了

【フリーフォームデザイン】

クラウンの外形デザイン同様の操作で、カットバックフレームの自由変形デザインが可能です。必要に応じてデザインを行います。



デザインが終了したら、
【次へ】を左クリックします。

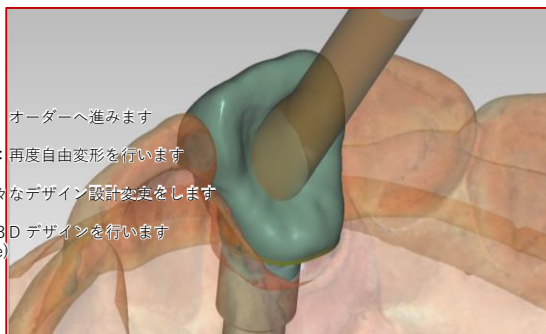
マルチレベルカットバック部分を
スムーズに編集

【デザインを結合します】

デザインを結合し、デザインの確定や再設計を行います

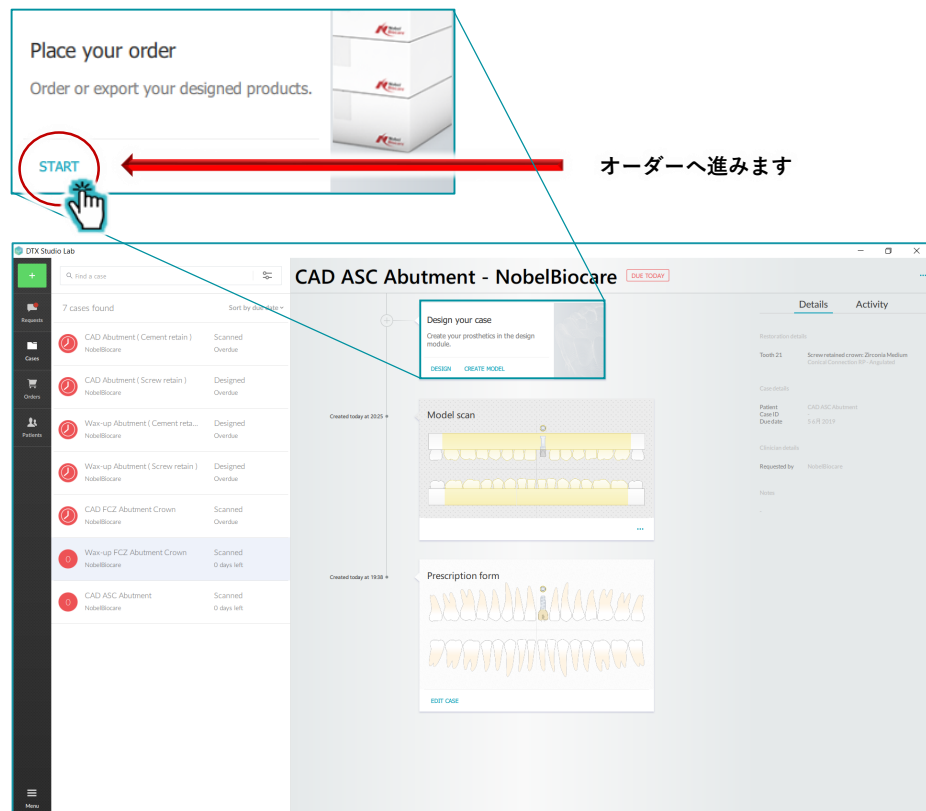


完了：デザインを確定し、オーダーへ進みます
フリーフォームの修復物：再度自由変形を行います
エキスパートモード：様々なデザイン設計変形をします
模型のデザイン：模型の3D デザインを行います (ModelCleator/要License)



【オーダーを行います】

デザインが完了すると、DTX STUDIO Lab ソフトウェア・フラットファームへ画面が戻ります。オーダーウィンドウが表示され、オーダーへ進めます。



オーダーへ進みます

項目を選択し、【次へ】をクリックします。



GMT xx Nobel Biocare Services AG, 2019. All rights reserved. Distributed by: Nobel Biocare. DTX Studio, Nobel Biocare, the Nobel Biocare logotype and all other trademarks are, if nothing else is stated or is evident from the context in a certain case, trademarks of Nobel Biocare. Please refer to nobelbiocare.com/trademarks for more information. Product images are not necessarily to scale. Disclaimer: Some products may not be regulatory cleared/released for sale in all markets. Please contact the local sales office for current product assortment and availability. For prescription use only. Caution: Federal (United States) law restricts this device to sale by or on the order of a licensed dentist. See Instructions for Use for full prescribing information, including indications, contraindications, warnings and precaution